

ソリッド フリーアドレス用デスクⅡ 基本+増連 組立説明書

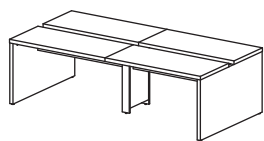
RFTFT2-1012(1014, 1212, 1214, 1412, 1414)WH(OA)-T, RFTFT2-W10(12, 14)(AD)WH(BK)-CB, RFTFT(2)-(D)12(14)WH(BK)-L(ML)

■組立説明書は(1)～(3)の3種類ございます。下記をご参照頂き、適合する番号の組立説明書をご覧ください。

3ページへお進みください。

(1) 基本

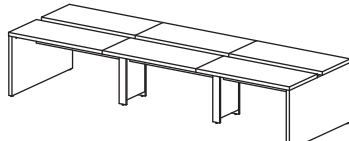
2連(幅2000, 2400, 2800mm)の場合



7ページへお進みください。

(2) 増連

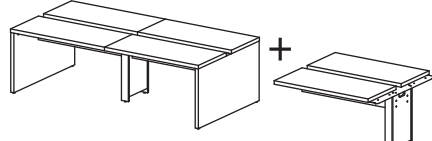
3連(幅3000, 3600, 4200mm)以上に組み立てる場合



12ページへお進みください。

(3) 後日増連

後日(1)又は(2)に増連する場合



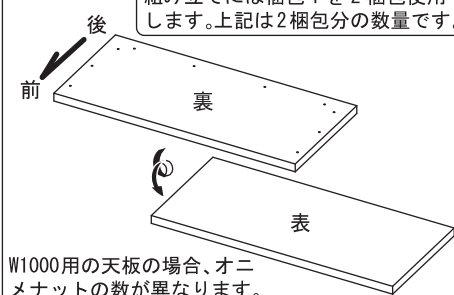
基本部材

お買い上げありがとうございます。部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

梱包1 RFTFT2-1012(1014, 1212, 1214, 1412, 1414)WH(OA)-T

①共通天板 ×4

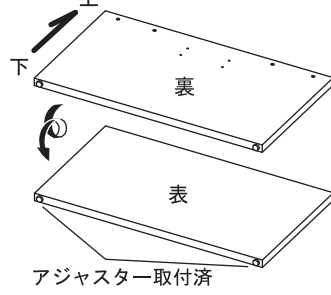
組み立てには梱包1を2梱包使用します。上記は2梱包分の数量です。



W1000用の天板の場合、オニメナットの数異なります。

梱包2 RFTFT2-D12(14)WH(BK)-L

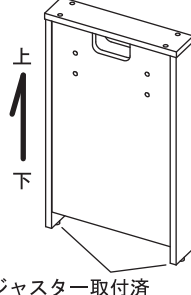
②脚部 ×2



アジャスター取付済

梱包3 RFTFT(2)-12(D14)WH(BK)-ML

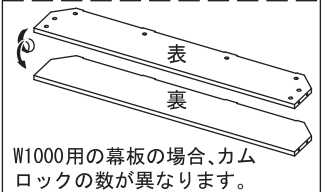
③中間脚 ×1



アジャスター取付済

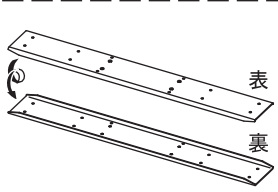
梱包4 RFTFT2-W10(12, 14)WH(BK)-CB

④幕板 ×4

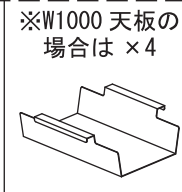


W1000用の幕板の場合、カムロックの数異なります。

⑤フレーム ×1

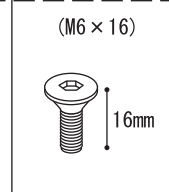


⑥配線受け ×6



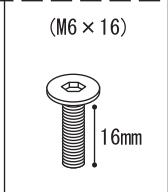
※W1000天板の場合は×4

⑦六角穴付き皿ねじ ×4



(M6×16)

⑧六角穴付き平ねじ ×12



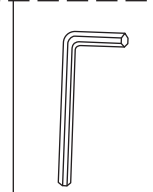
(M6×16)

⑨41ジョイントシャフト ×40



※W1000天板の場合は×36

⑩六角レンチ ×1



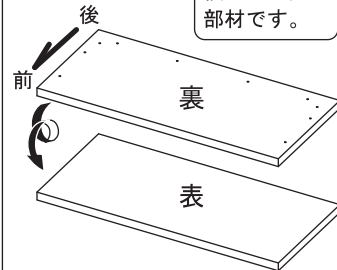
増連部材 (1台分)

幅1000(1200, 1400)mmを追加する毎に増連部材が必要となります。

梱包5 RFTFT2-1012(1014, 1212, 1214, 1412, 1414)WH(OA)-T

①共通天板 ×2

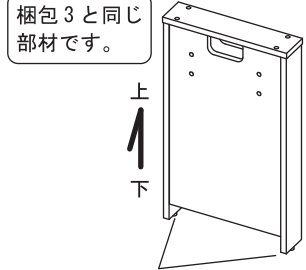
梱包1と同じ部材です。



W1000用の天板の場合、オニメナットの数異なります。

梱包6 RFTFT(2)-12(D14)WH(BK)-ML

③中間脚 ×1

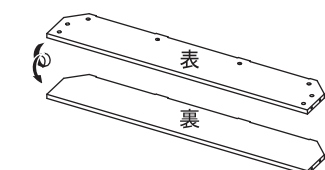


アジャスター取付済

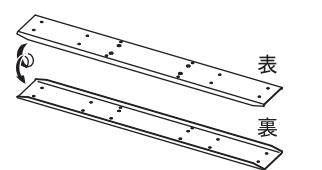
梱包7 RFTFT2-W10(12, 14)ADWH(BK)-CB

梱包4と同じ部材です。数量のみが異なります。

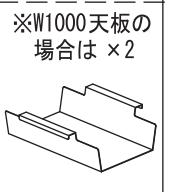
④幕板 ×2



⑤フレーム ×1

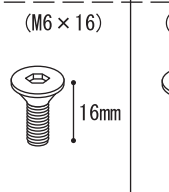


⑥配線受け ×3



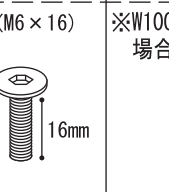
※W1000天板の場合は×2

⑦六角穴付き皿ねじ ×4



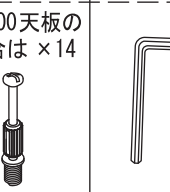
(M6×16)

⑧六角穴付き平ねじ ×12



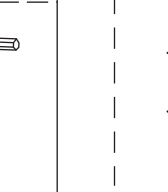
(M6×16)

⑨41ジョイントシャフト ×16



※W1000天板の場合は×14

⑩六角レンチ ×1



重要

ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

本商品にはジョイントシャフトとカムロックを使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

1. ジョイントシャフトの取り付け

※商品に同梱されているジョイントシャフトの種類をご確認のうえ、下記に示す方法で取り付けを行ってください。

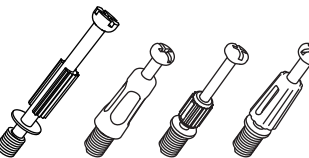
ジョイントシャフト

※商品によってジョイントシャフトの形状が異なる場合がありますが、使用上問題ございません。

ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90度ほど増し締めしてください。



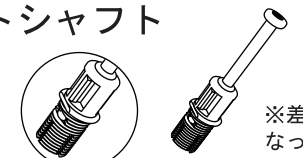
←埋め込みナット



90°

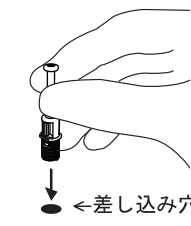
締めすぎに注意!

差込ジョイントシャフト

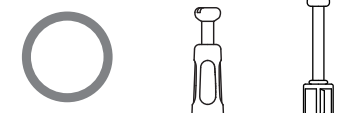
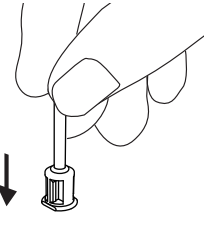


※差込部が樹脂製になっています。

ジョイントシャフトを指定の板面穴に差し込みます。隙間が無いように最後まで差し込んでください。

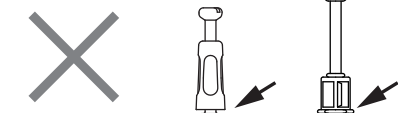


←差し込み穴



適切な取り付け

ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。



最後まで入っていない

抜けや歪みの原因となります。



締めすぎ・差し込みすぎ

ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。

2. ジョイントシャフトの挿入

板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。

カムロックには＋又は▲矢印もしくはその両方が刻印されています。



この印をジョイントシャフト側に向けて差し込んでください。

取り付ける板面を平行に持ち、垂直に真っ直ぐ差し込みます。

カムロック

ジョイントシャフト

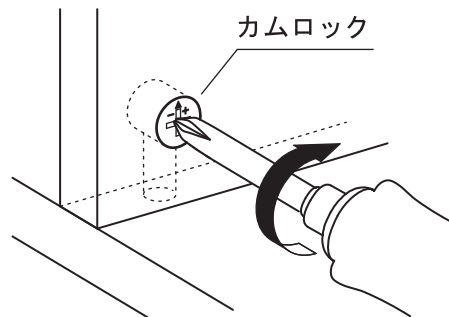


適切な差し込み

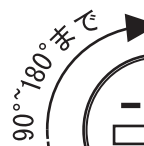
隙間が空いている
正常に固定できません。

3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°～180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



カムロック



90°～180°まで



正常な締め付け



締めすぎ

無理に回すと破損の原因となります

(1) 基本 2連(幅 2000,2400,2800mm)の場合

組立の目安
30分

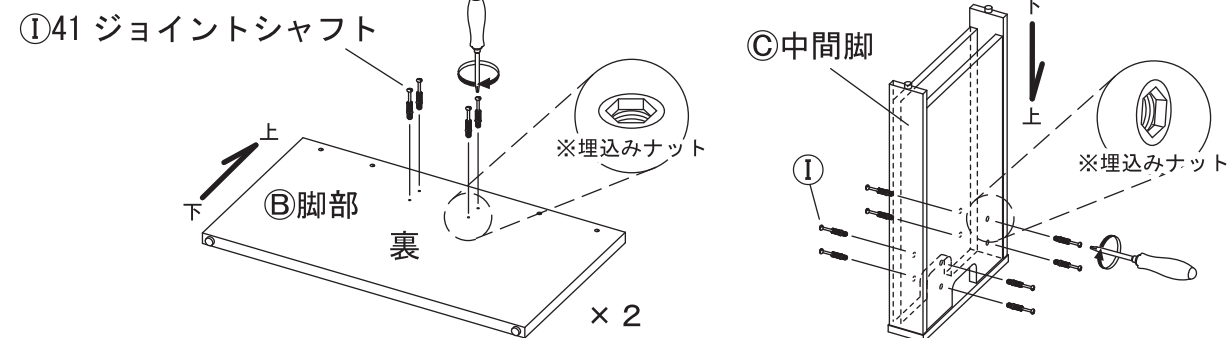


組立前の注意

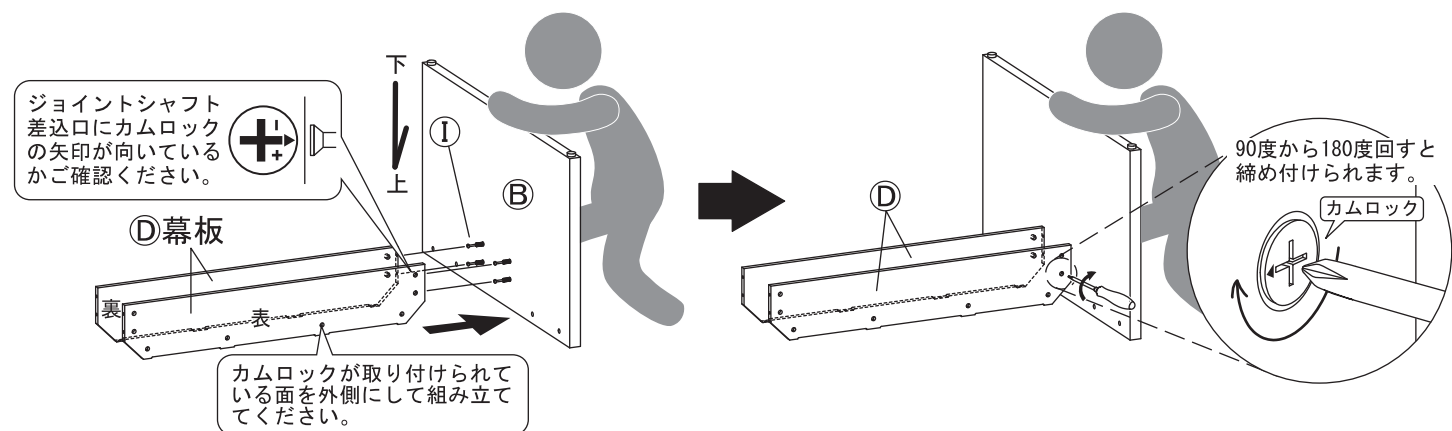
設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

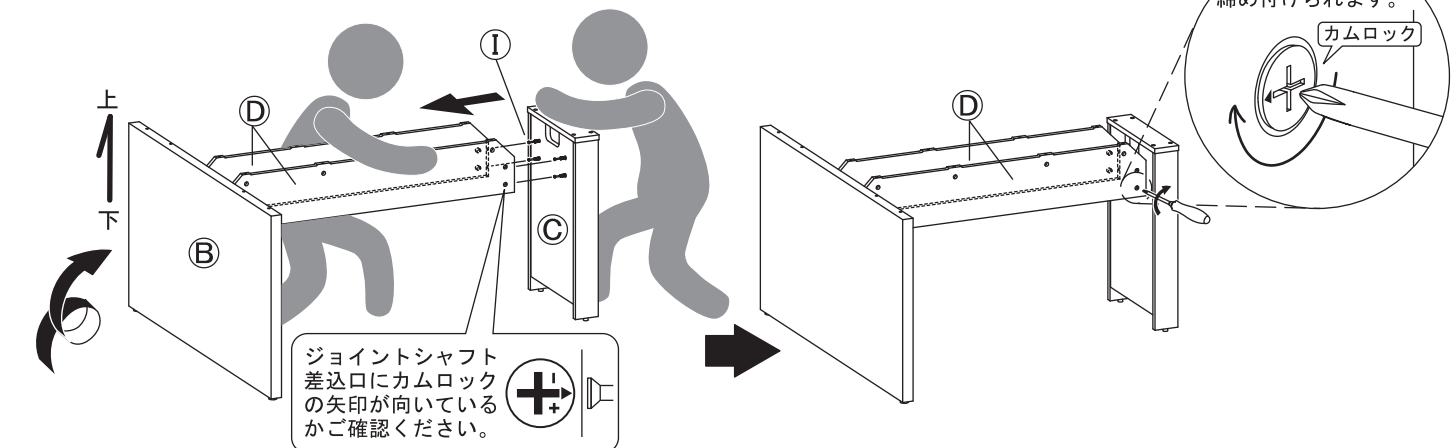
- 1 ⑧脚部・⑨中間脚に①41 ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- 2 1で組み付けた⑧脚部の①41 ジョイントシャフトを、⑩幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑧脚部を支えながら行なってください。

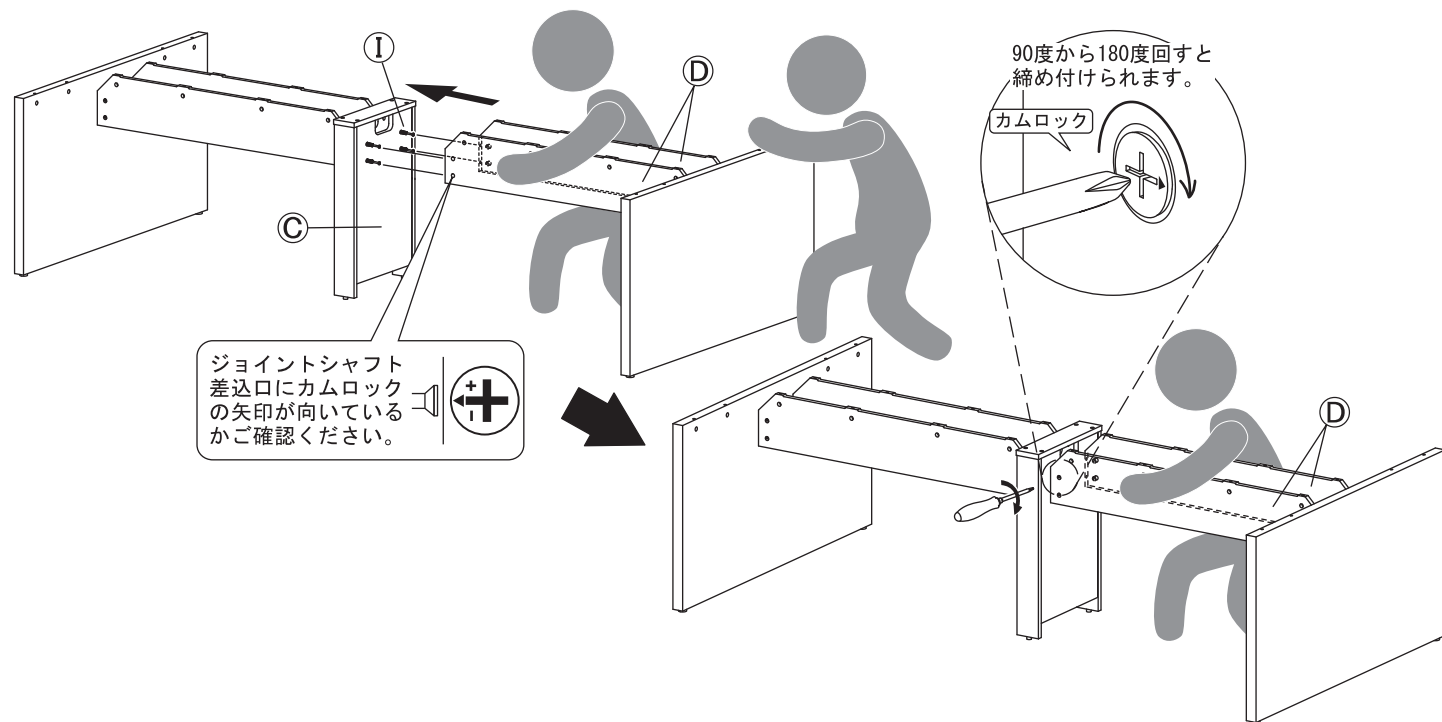


- 3 2で組み付けた⑧脚部・⑩幕板を二人以上で慎重に起こし、1で組み付けた⑨中間脚の①41 ジョイントシャフトを、⑩幕板の横穴に差し込みます。その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行なってください。



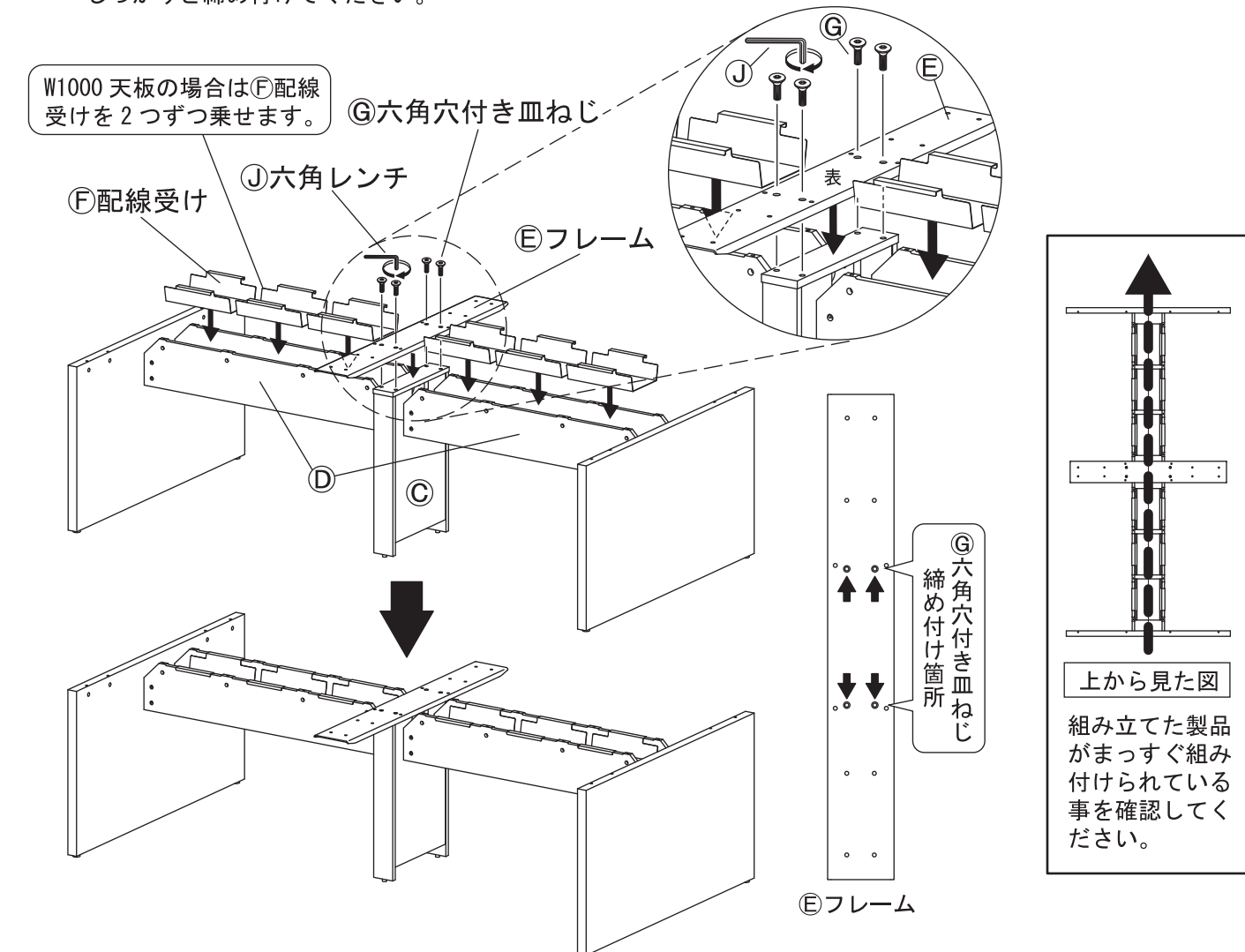
4

- 2の組み立てをもう一行い、⑨中間脚の①41 ジョイントシャフト(3と反対側)を⑩幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行なってください。



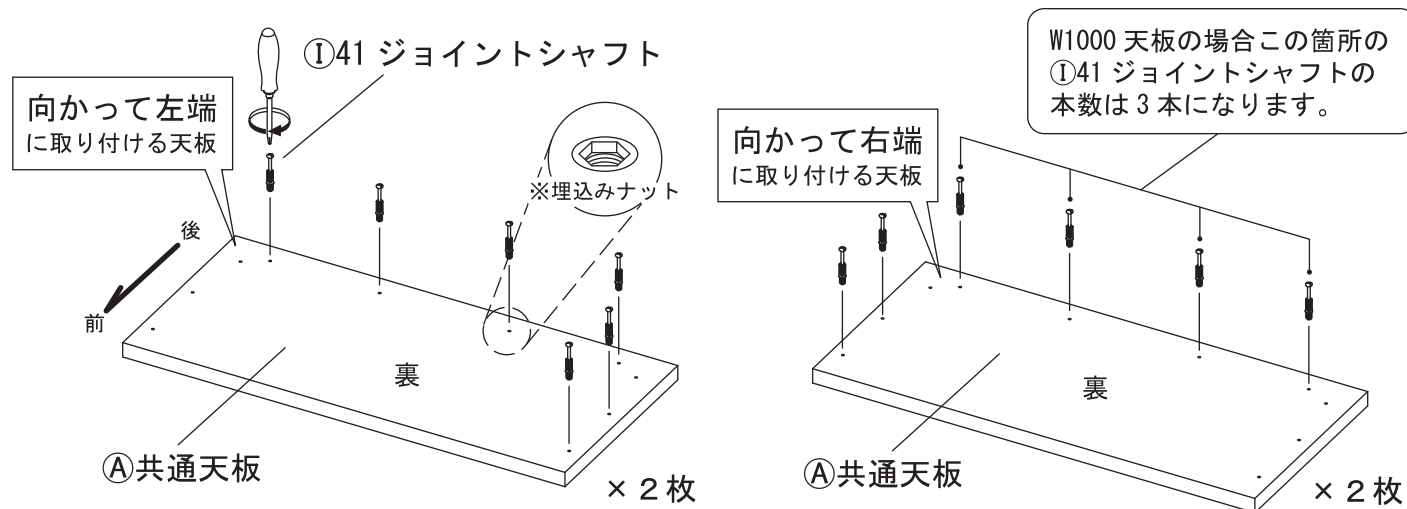
5

- ⑩幕板に⑪配線受けを乗せます。
その後、⑨中間脚の上に⑫フレームを二人以上で慎重に乗せ、⑬六角レンチを使って⑭六角穴付き皿ねじをしっかりと締め付けてください。



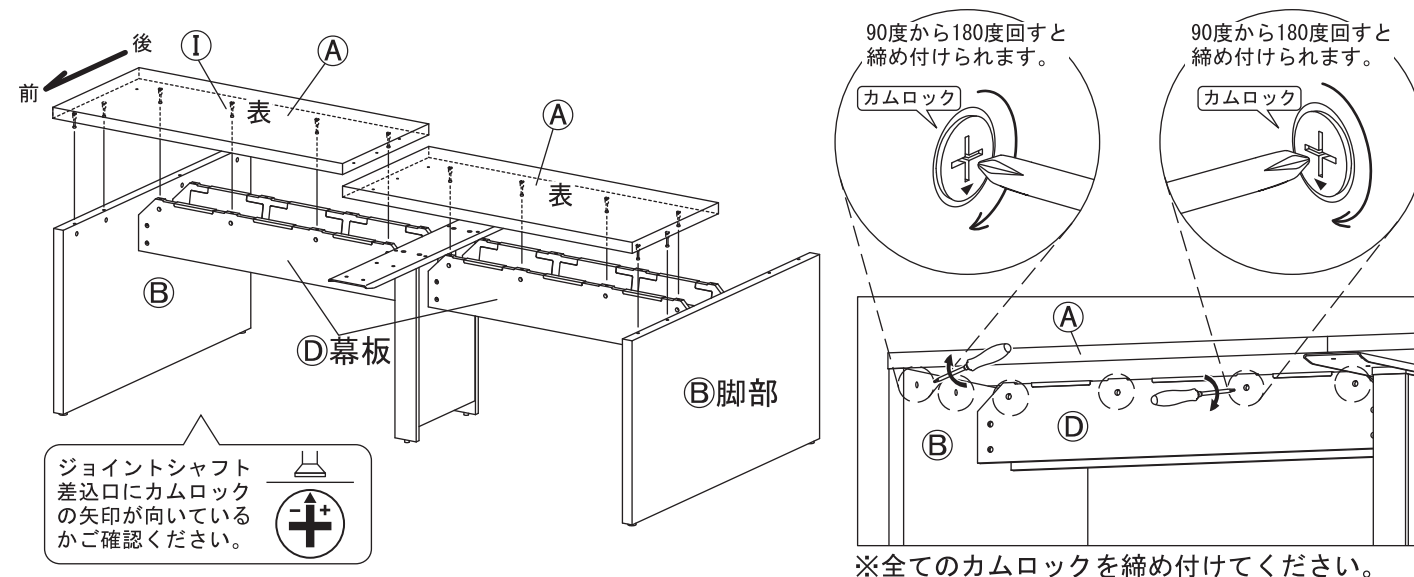
6

- ④共通天板に①41 ジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

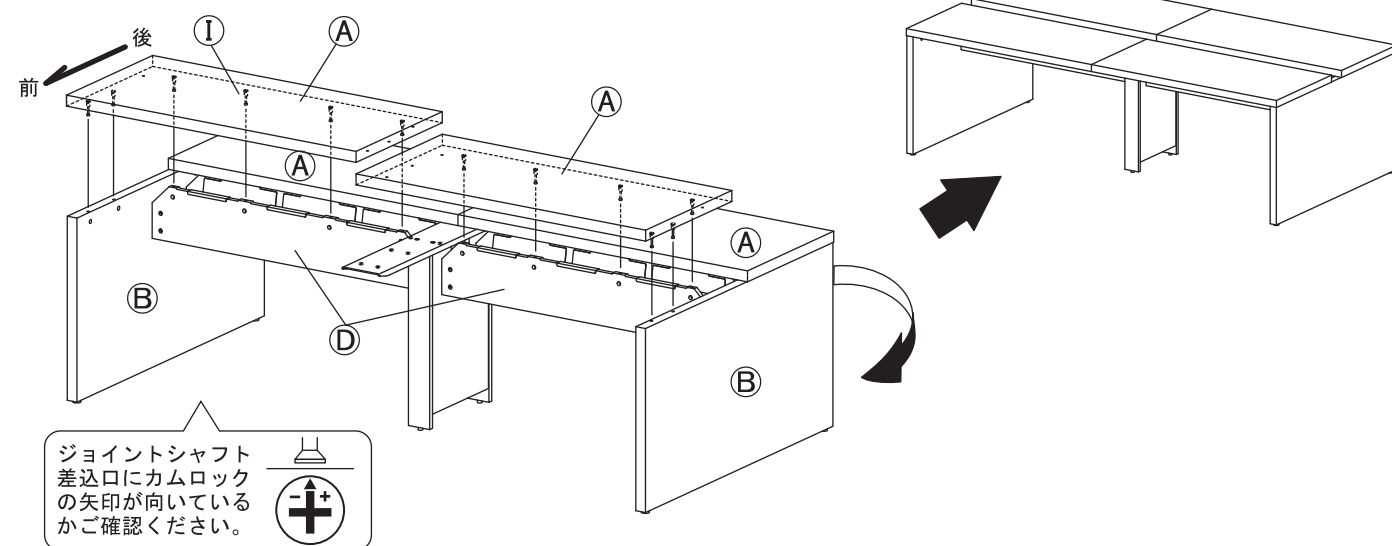


7

- ⑤で組み付けた部材に天板を取り付けます。
 ④共通天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けした①41 ジョイントシャフトを③脚部・⑤幕板の横穴に差し込んでください。その後、③脚部・⑤幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

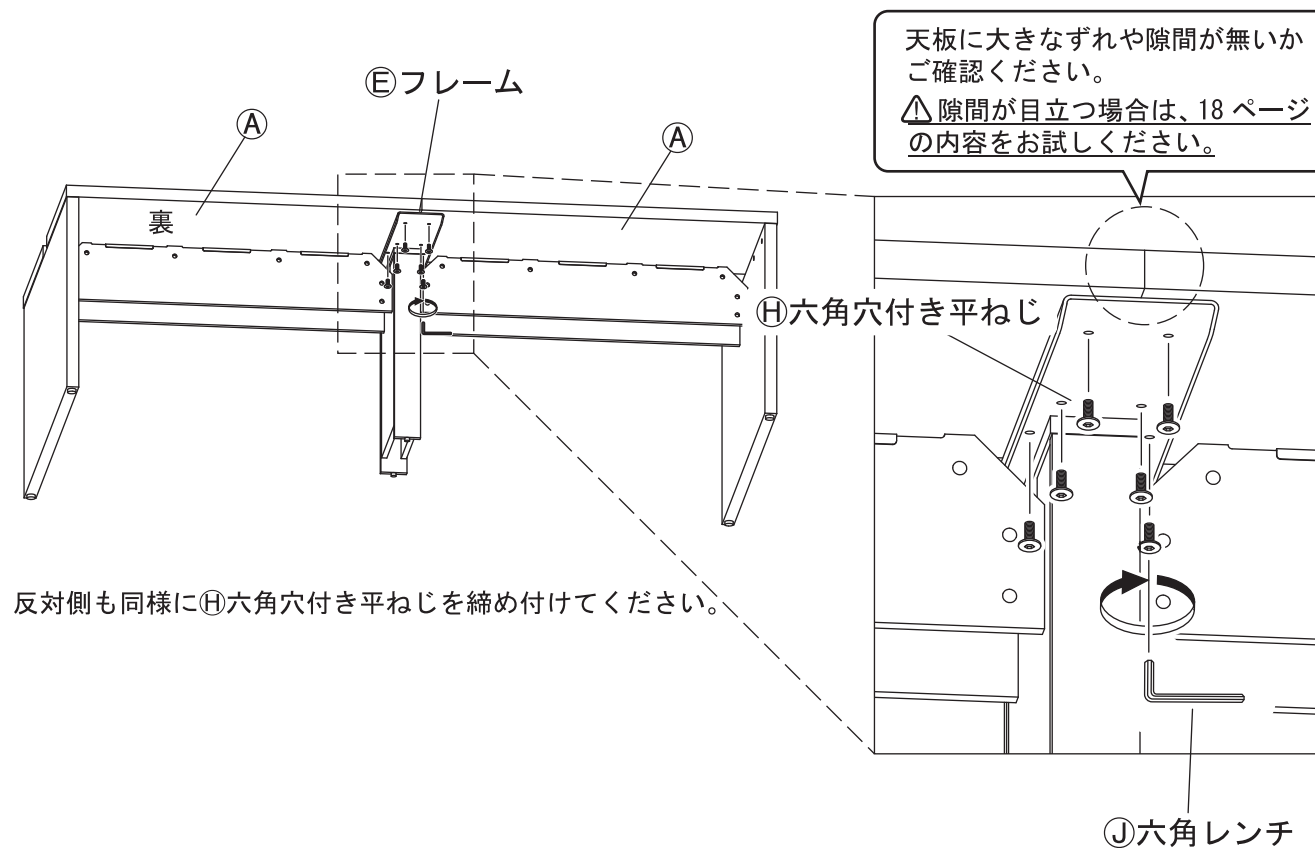


反対側も同様に④共通天板を取り付けてください。



8

- ④共通天板と⑤フレームを固定します。
 ④共通天板の裏側から、⑥六角レンチを使って⑦六角穴付き平ねじを締め付けてください。

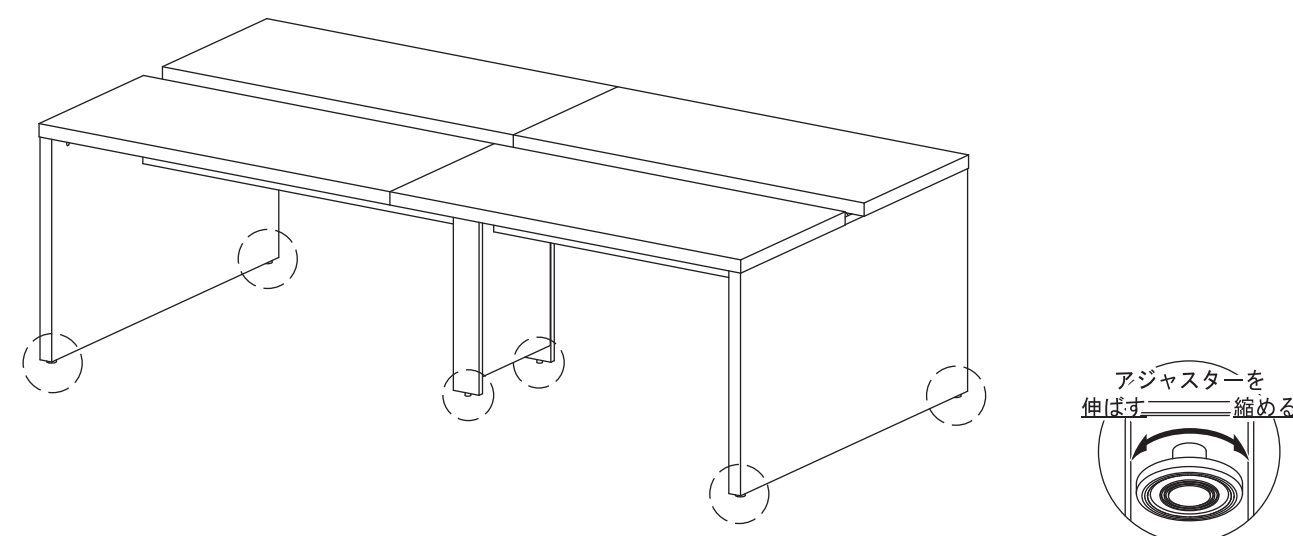


部材を落としてケガをしないよう十分注意してください。

※ねじは定期的に増し締めを行なってください。

9

- ④共通天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



※組み立て後に移動させる際は、全てのねじ・カムロックが正しく締め付けられている事を確認し天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

床に接地していないアジャスターを回して水平になるように調整し、がたつかないようにしてください。

(2) 増連 3 連(幅 3000,3600,4200mm) 以上に組み立てる場合

組立の目安
40 分～

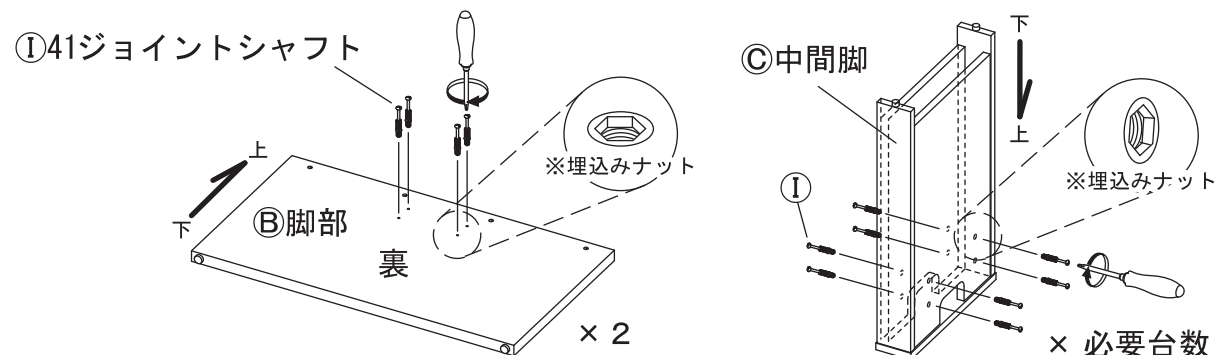
基本部材 と 増連部材 の必要台数分を使用します。

組立前の注意

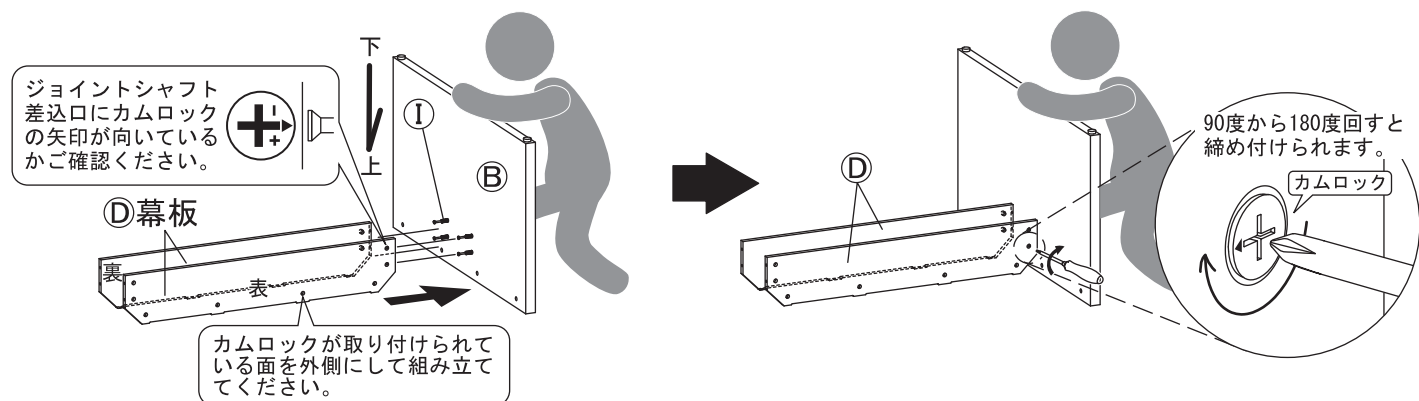
設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

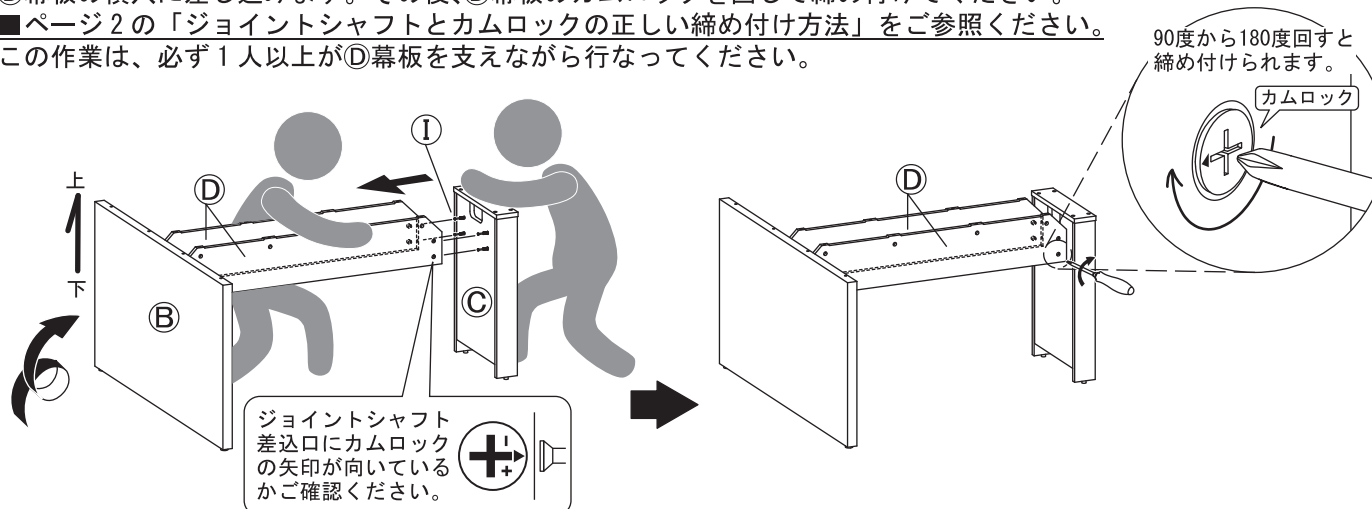
1 ⑧脚部・⑨中間脚に①41ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



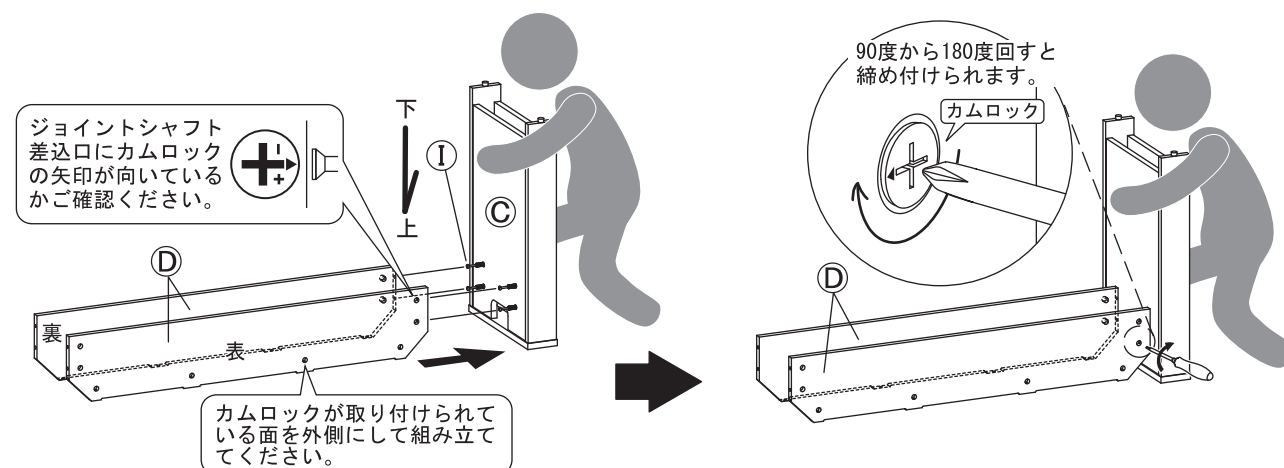
2 **1** で組み付けた⑧脚部の①41ジョイントシャフトを、⑩幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑧脚部を支えながら行なってください。



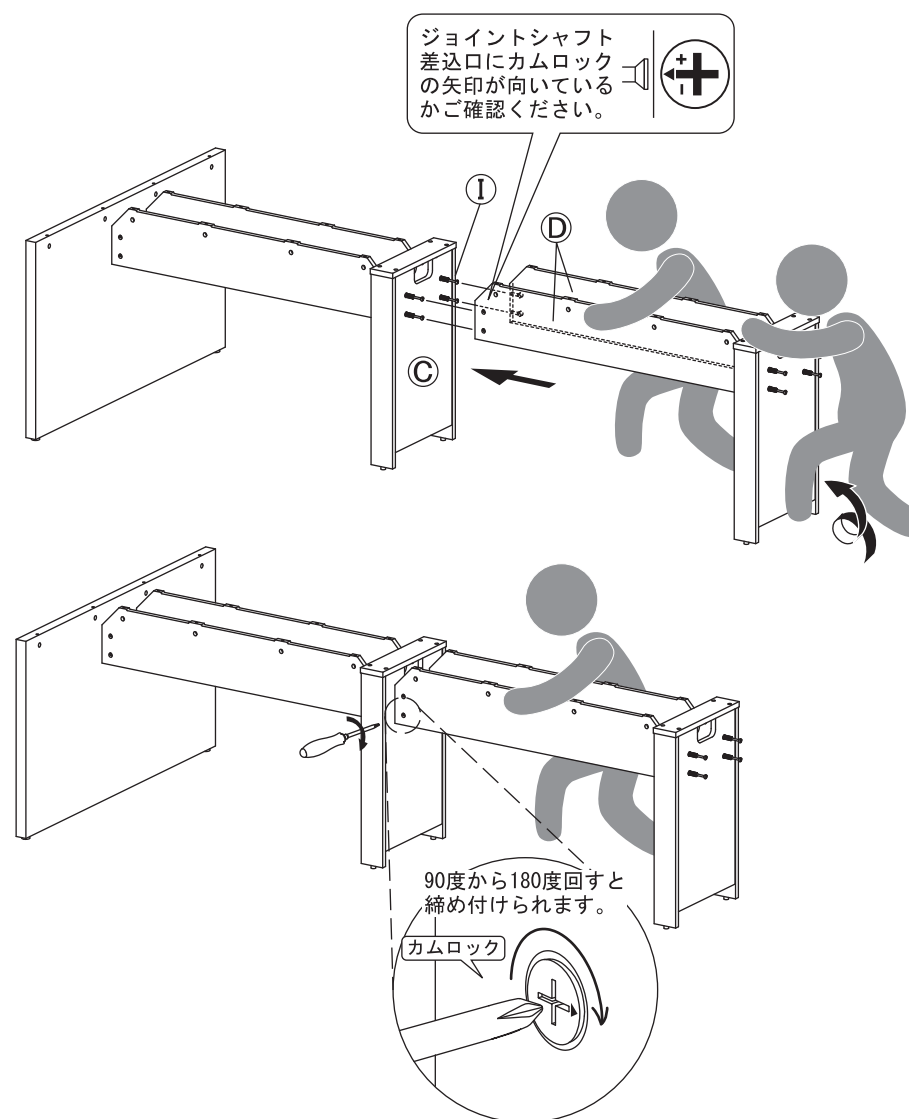
3 **2** で組み付けた⑧脚部・⑩幕板を二人以上で慎重に起こし、**1** で組み付けた⑨中間脚の①41ジョイントシャフトを、⑩幕板の横穴に差し込みます。その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行なってください。



4 **1** で組み付けた**3**とは別の⑨中間脚と⑩幕板を用意します。
⑨中間脚の①41ジョイントシャフトを⑩幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑨中間脚を支えながら行なってください。



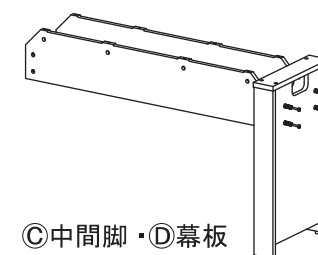
5 **4** で組み立てた⑨中間脚・⑩幕板を二人以上で慎重に起こし、**3** で組み立てた⑨中間脚の①41ジョイントシャフトを、⑩幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行なってください。



組立上の注意

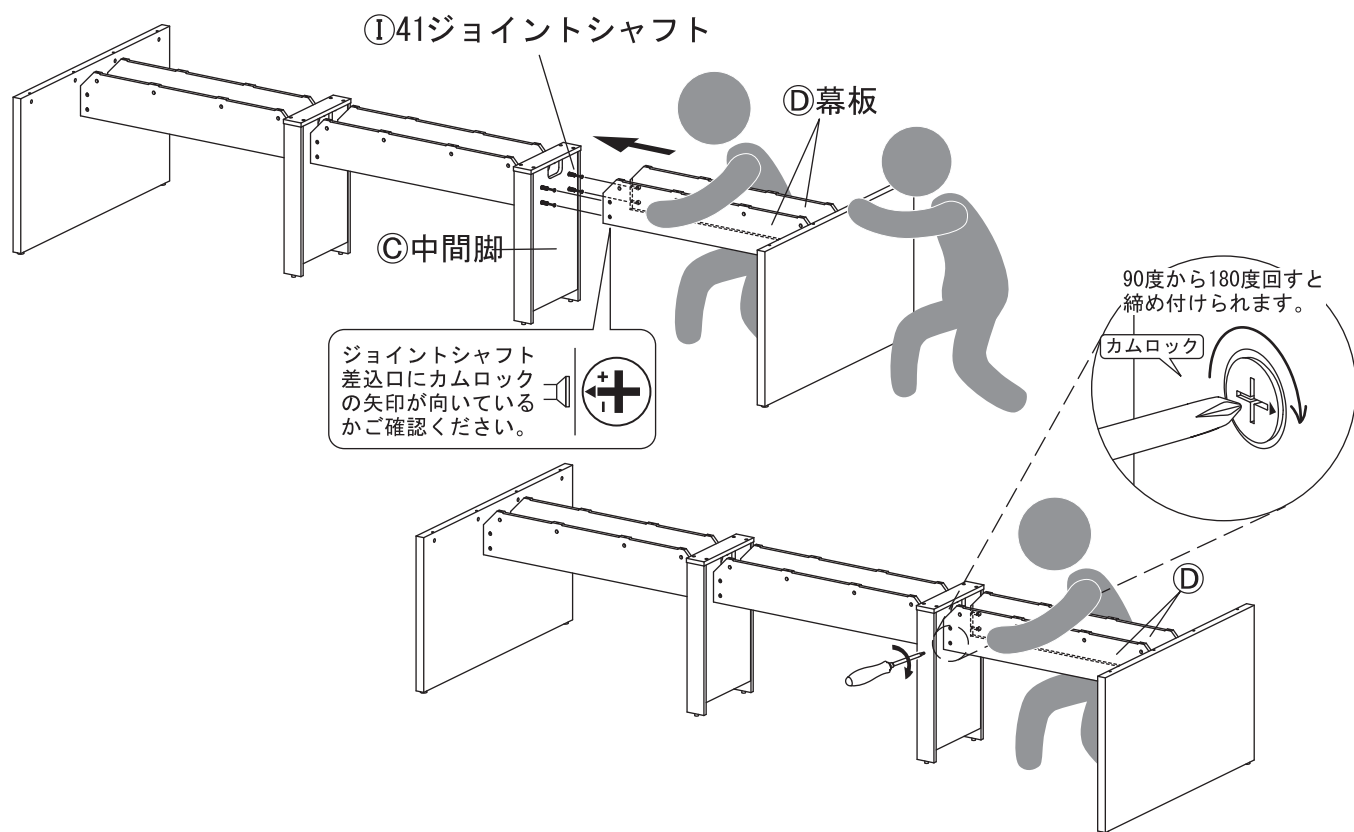
この工程で組み立てる⑨中間脚・⑩幕板の連結台数は完成予定のデスクの幅によって異なります。
デスクの幅に応じて **4 5** の工程を繰り返してください。

デスク幅	4の必要台数
3 連 W3000/3600/4200	… 1 台
4 連 W4000/4800/5600	… 2 台
5 連 W5000/6000/7000	… 3 台
6 連 W6000/7200/8400	… 4 台

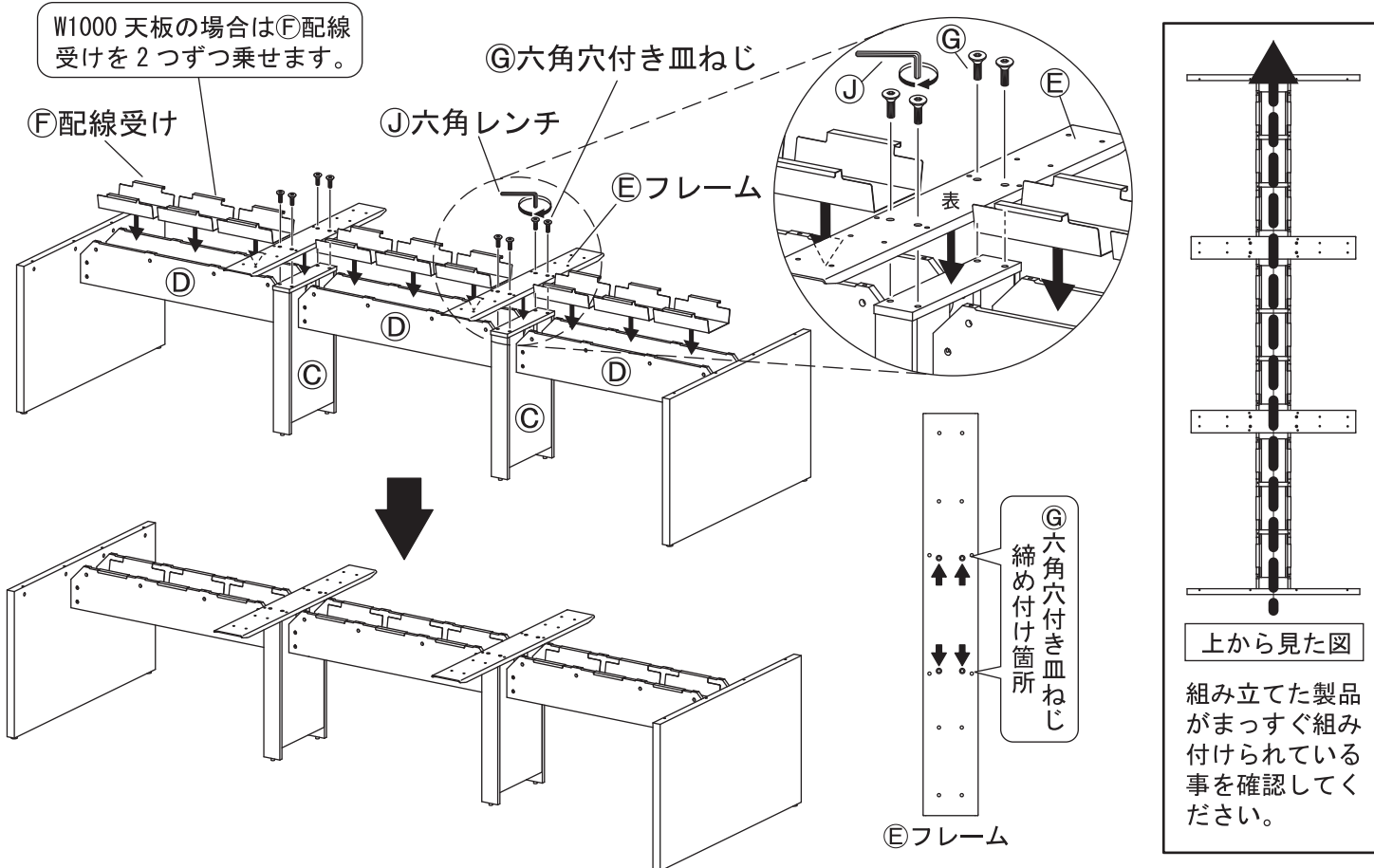


⑨中間脚・⑩幕板

2 の組み立てをもう一組行い、③中間脚の①41ジョイントシャフトを④幕板の横穴に差し込みます。その後、④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上が④幕板を支えながら行ってください。

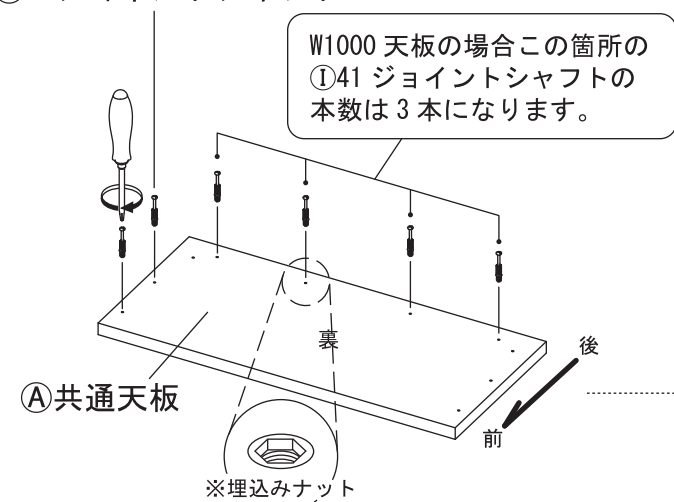


④幕板に⑦配線受けを乗せます。その後、③中間脚の上に⑤フレームを二人以上で慎重に乗せ、⑧六角レンチを使って⑨六角穴付き皿ねじをしっかりと締め付けてください。



①共通天板に①41ジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

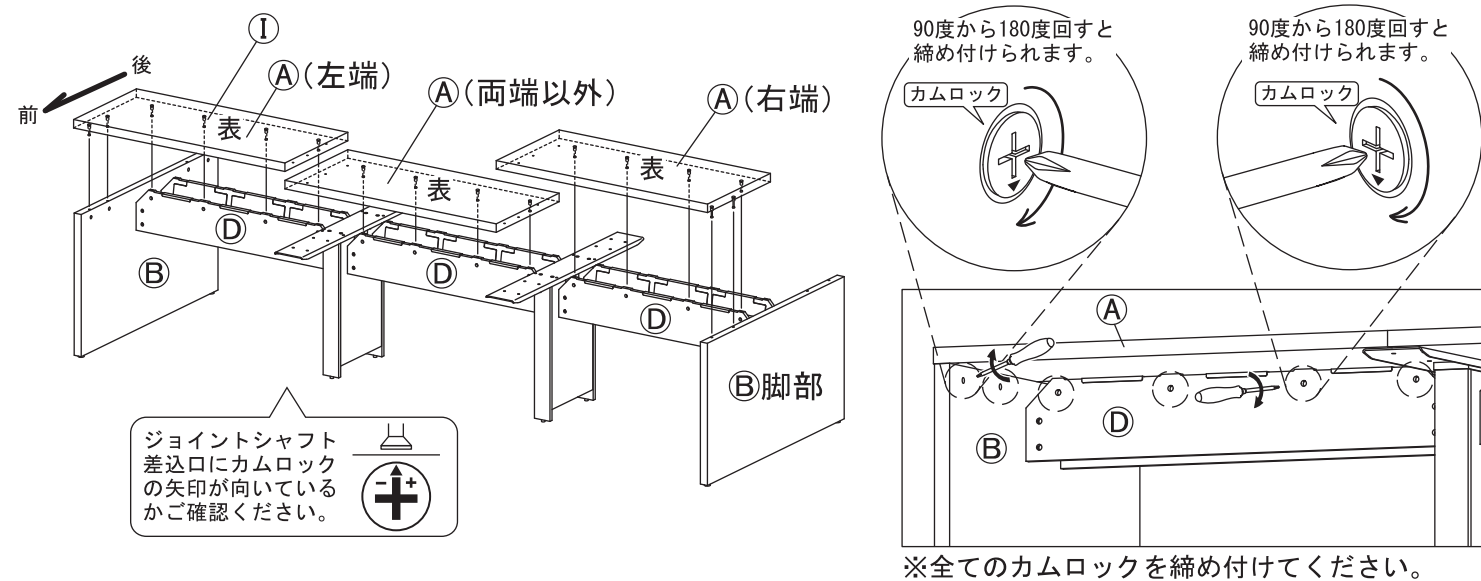
①41ジョイントシャフト



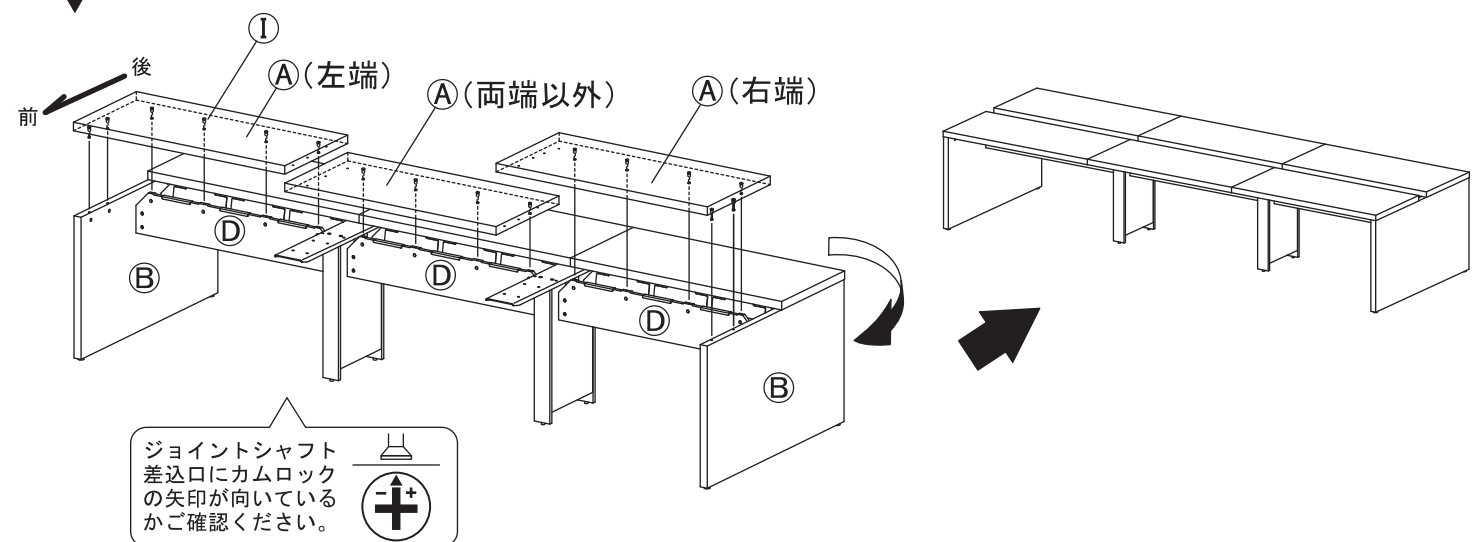
天板への41ジョイントシャフト取り付け位置

向かって右端に取り付ける天板	× 2 枚
向かって左端に取り付ける天板	× 2 枚
両端以外に取り付ける天板	必要枚数

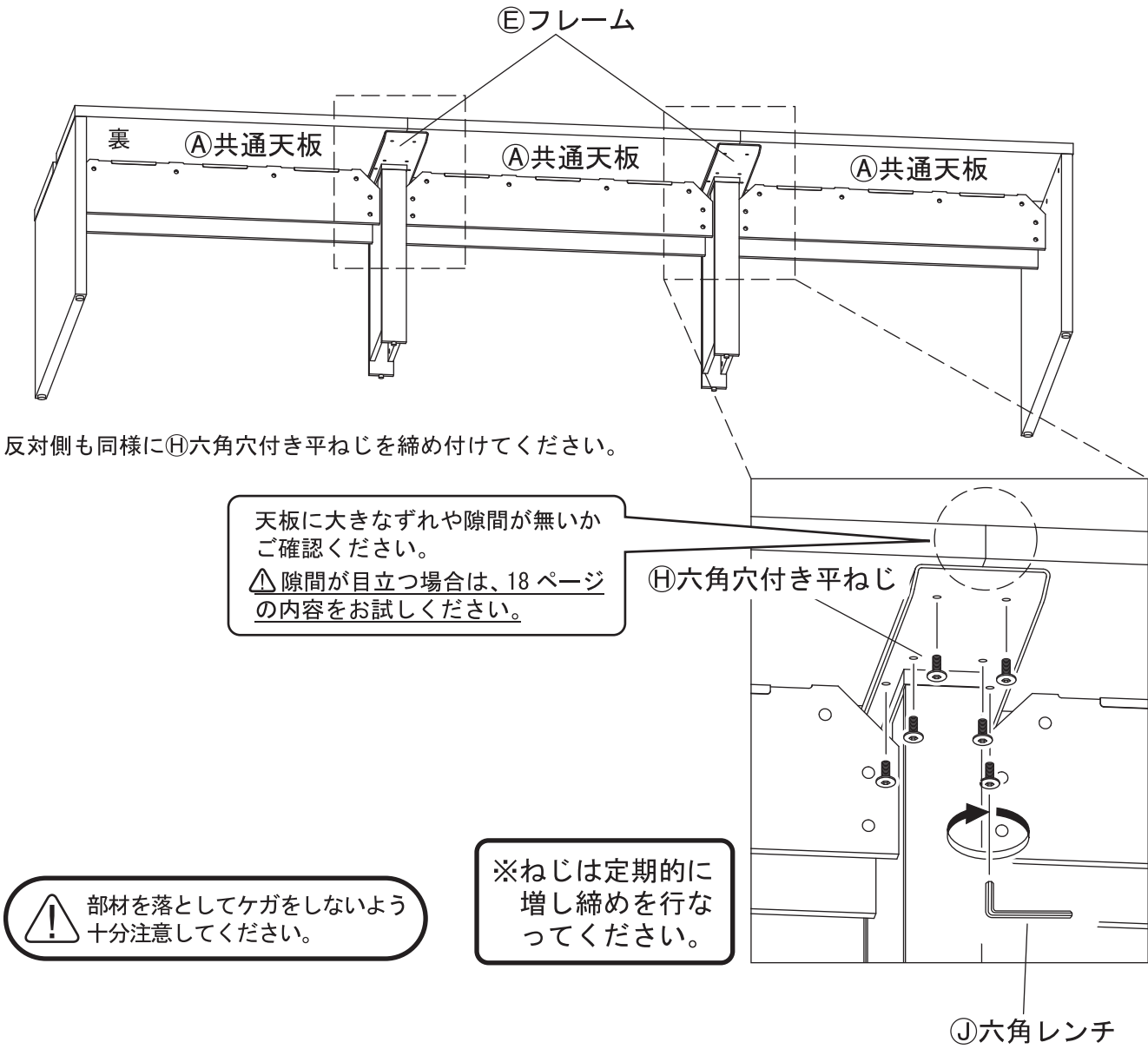
7 で組み付けた部材に天板を取り付けます。
 ①共通天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けした①41ジョイントシャフトを②脚部・④幕板の横穴に差し込んでください。その後、②脚部・④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



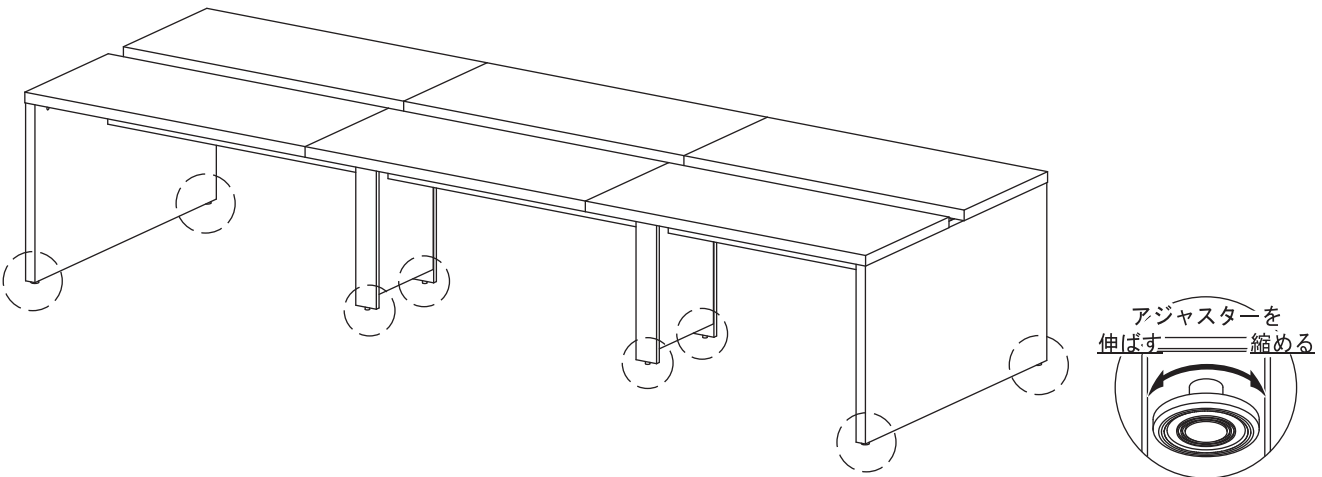
反対側も同様に①共通天板を取り付けてください。



④共通天板と⑤フレームを固定します。
④共通天板の裏側から、⑥六角レンチを使って⑦六角穴付き平ねじを締め付けてください。



④共通天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



組み立て後に移動させる際は、全てのねじ・カムロックが正しく締め付けられている事を確認し天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

床に接地していないアジャスターを回して水平になるように調整し、がたつかないようにしてください。

(3) 後日増連 後日 (1) 又は (2) に増連する場合

組立の目安
40分～

増連部材 の必要台数分を使用します。

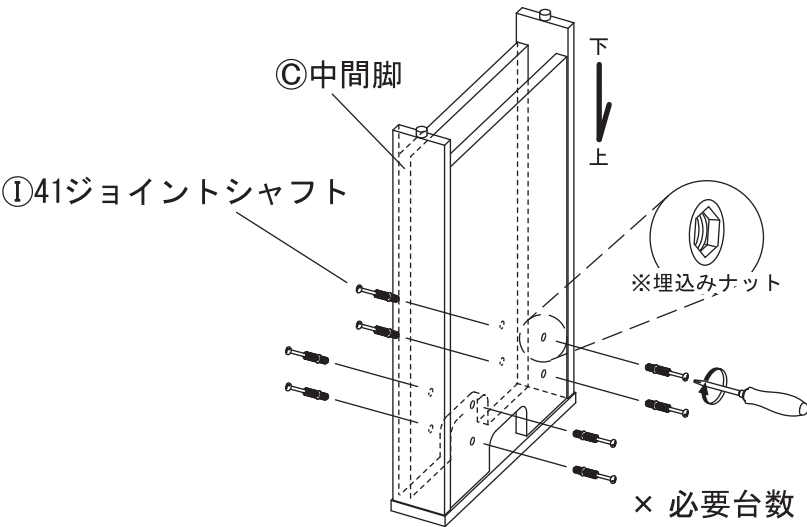


組立前の注意

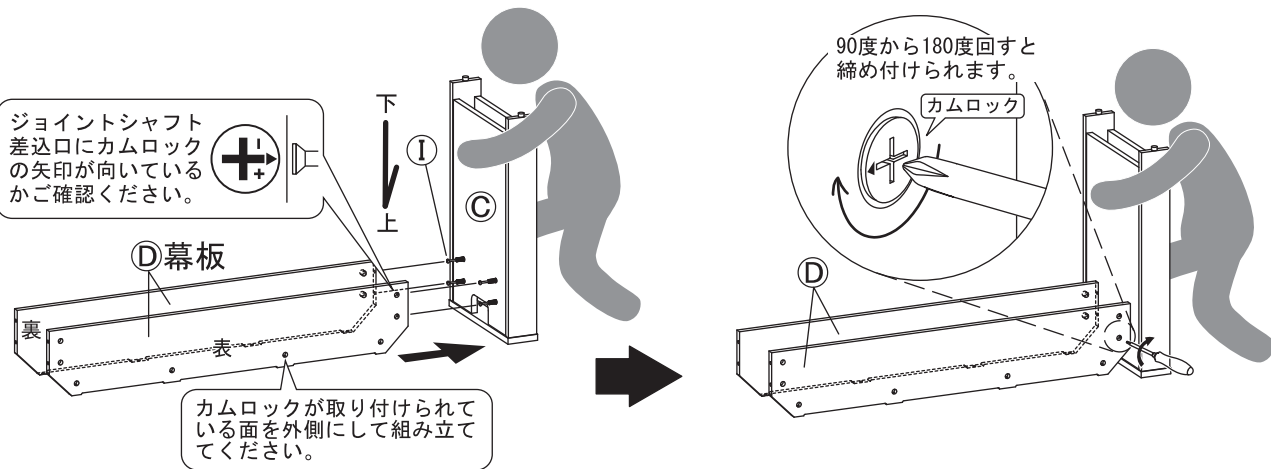
設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

- 1
- ◎中間脚に①41ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



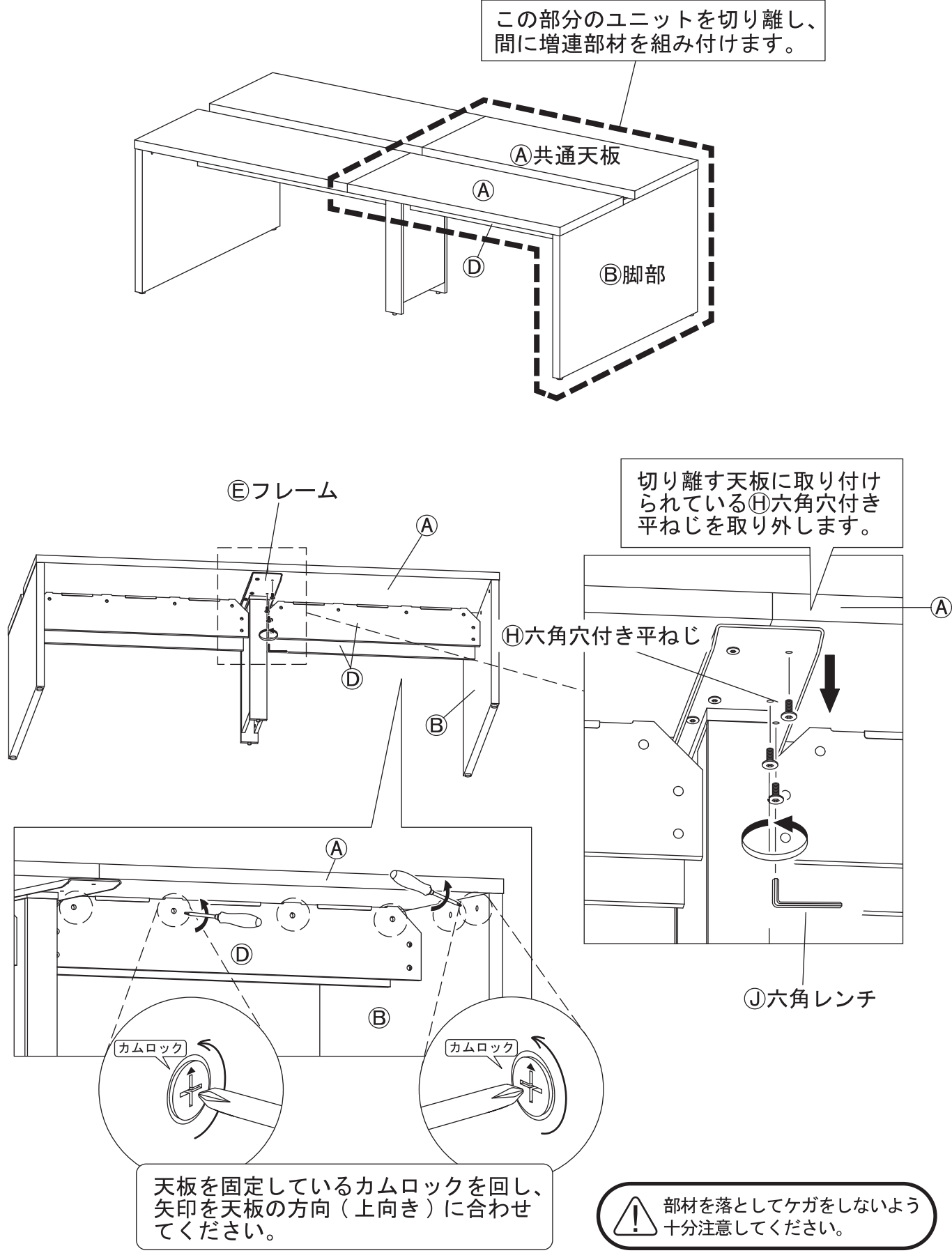
- 2
- 1で組み付けた◎中間脚の①41ジョイントシャフトを④幕板の横穴に差し込みます。
その後、④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が◎中間脚を支えながら行なってください。



この工程を増連台数分行ってください。

3

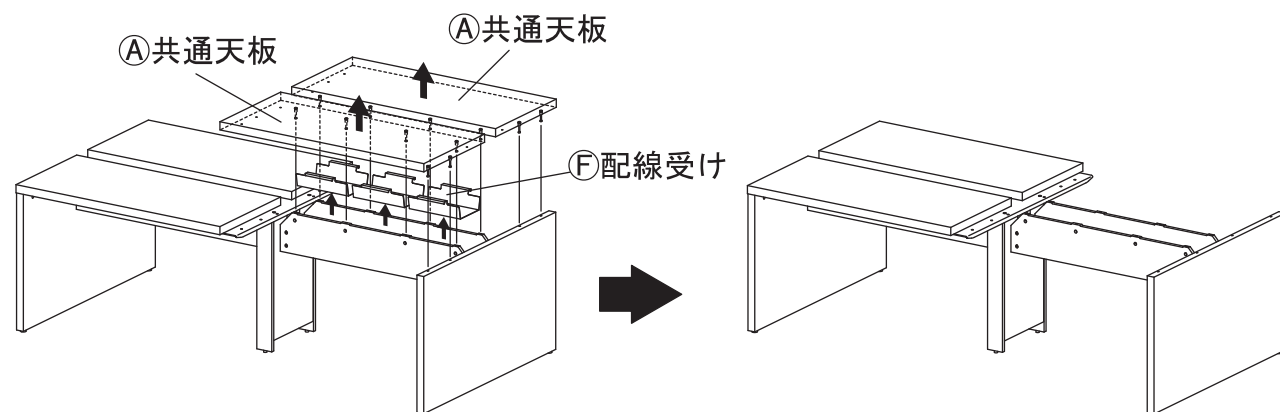
増連部材を組み付ける為に、組み立て済みの製品を分解します。
⑤フレームに取り付けられている⑧六角穴付き平ねじを⑨六角レンチを使って取り外します。
その後、⑩幕板・⑪脚部に取り付けられているカムロックを回して緩めてください。



※対面側も同様の作業を行なってください。

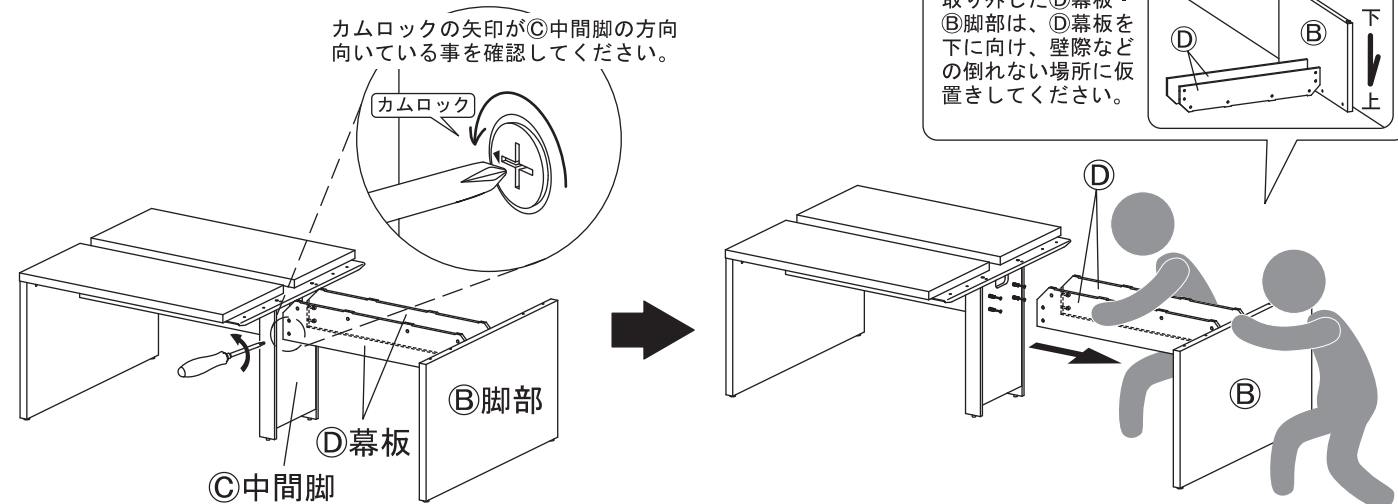
4

- ④共通天板・⑤配線受けを取り外します。
④共通天板は1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げて取り外してください。



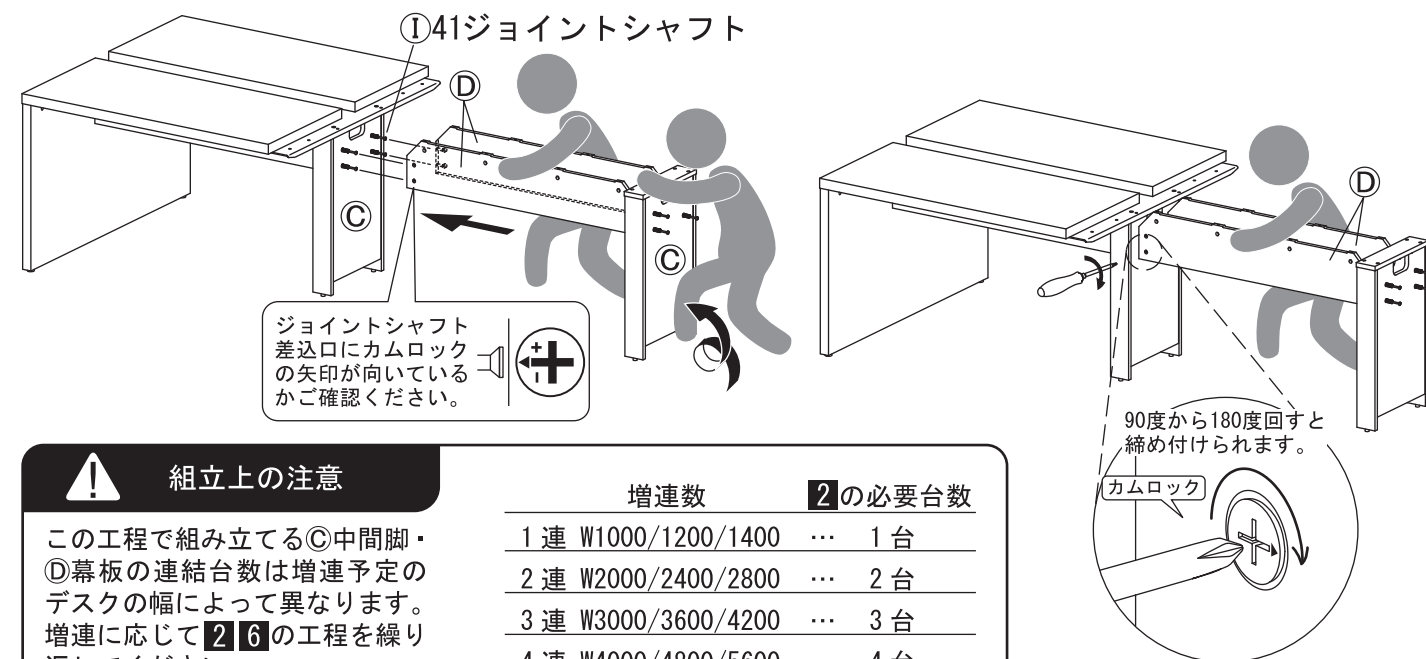
5

- ⑥幕板に取り付けられている⑦中間脚側のカムロックを回して緩めてください。
その後、⑥幕板・⑧脚部を二人以上で慎重に取り外してください。
この作業は、必ず1人以上が⑥幕板を支えながら行なってください。



6

- ②で組み立てた⑦中間脚・⑥幕板を二人以上で慎重に起こし、⑦中間脚の①41ジョイントシャフトを、⑥幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑥幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑥幕板を支えながら行なってください。



組立上の注意

この工程で組み立てる⑦中間脚・⑥幕板の連結台数は増連予定のデスクの幅によって異なります。増連に応じて②⑥の工程を繰り返し行ってください。

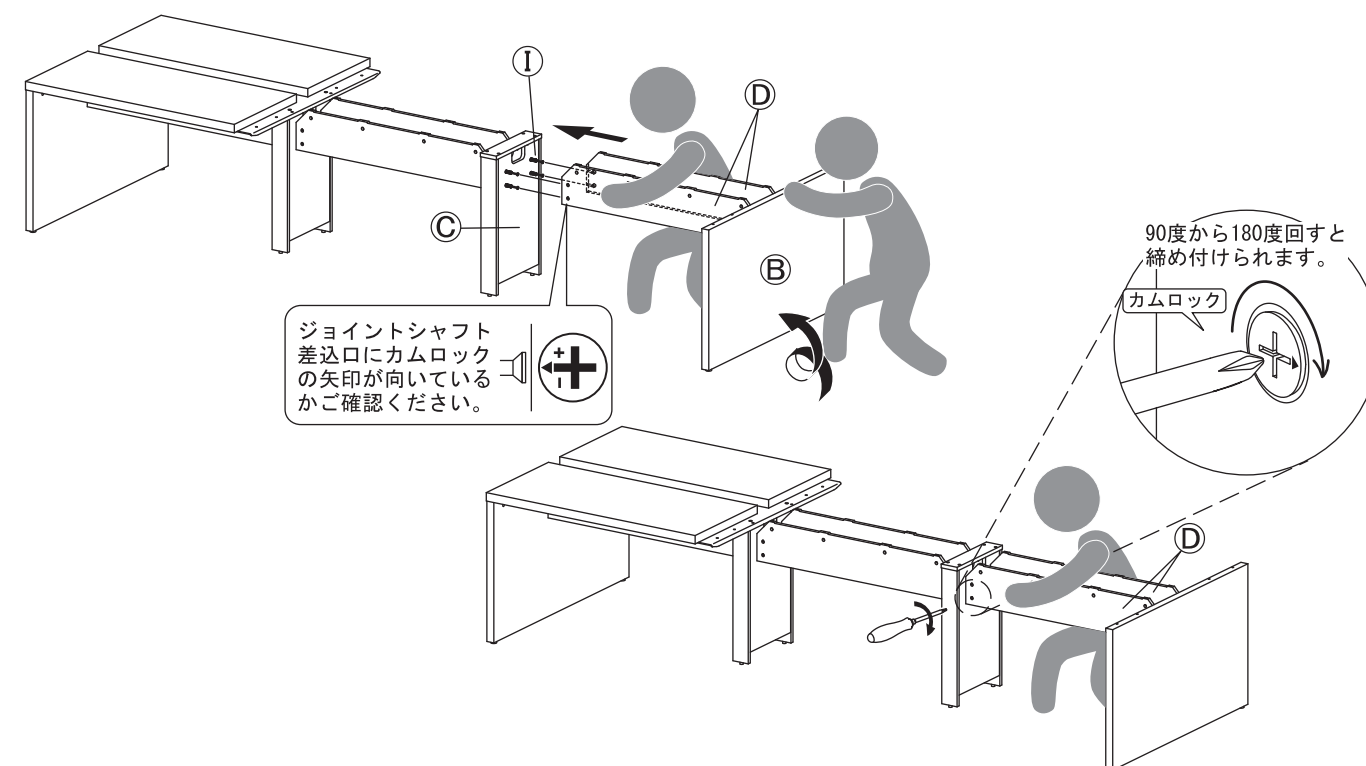
増連数

②の必要台数

1連 W1000/1200/1400	...	1台
2連 W2000/2400/2800	...	2台
3連 W3000/3600/4200	...	3台
4連 W4000/4800/5600	...	4台

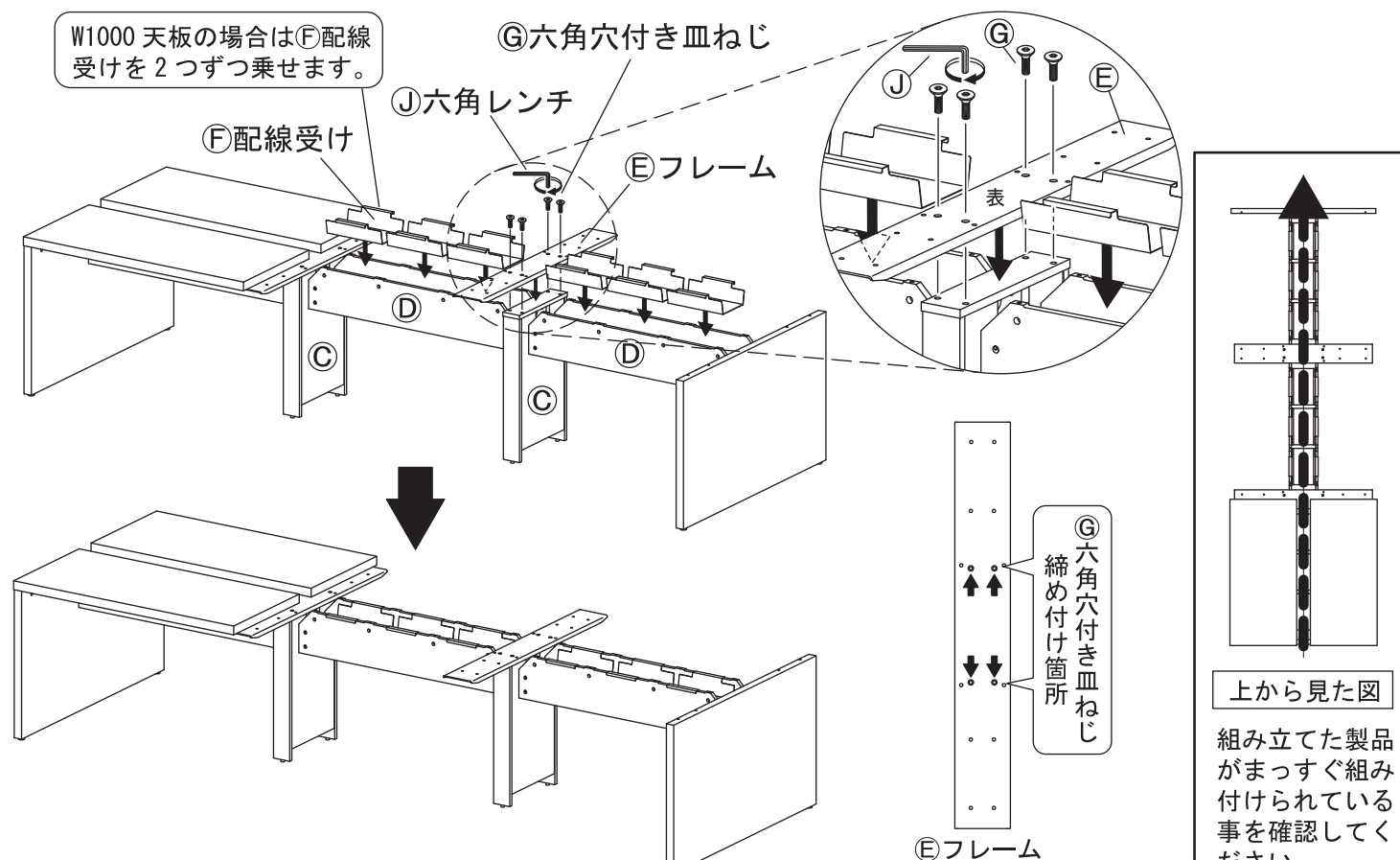
7

- ⑤で取り外した⑧脚部・⑥幕板を二人以上で慎重に起こし、⑦中間脚の①41ジョイントシャフトを⑥幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑥幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑥幕板を支えながら行なってください。



8

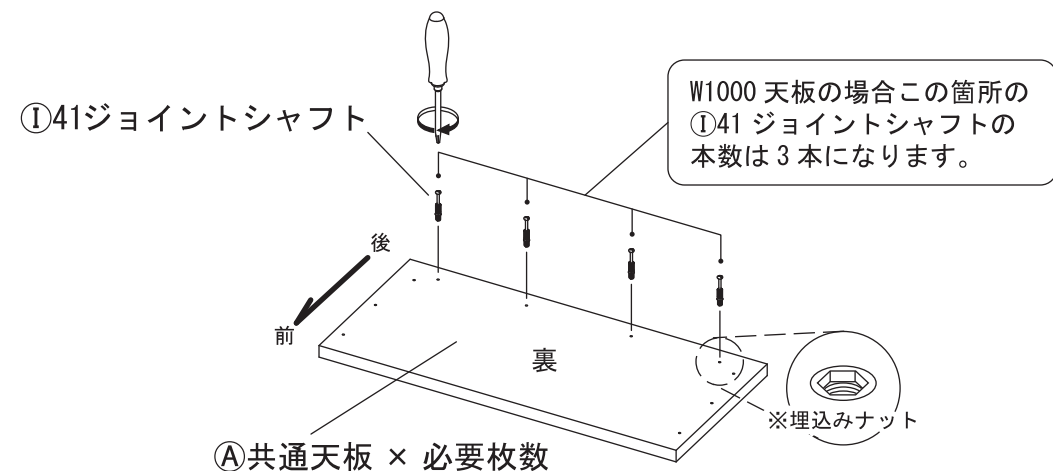
- ⑥幕板に⑤配線受けを乗せます。
その後、⑦中間脚の上に⑧フレームを二人以上で慎重に乗せ、⑨六角レンチを使って⑩六角穴付き皿ねじをしっかりと締め付けてください。



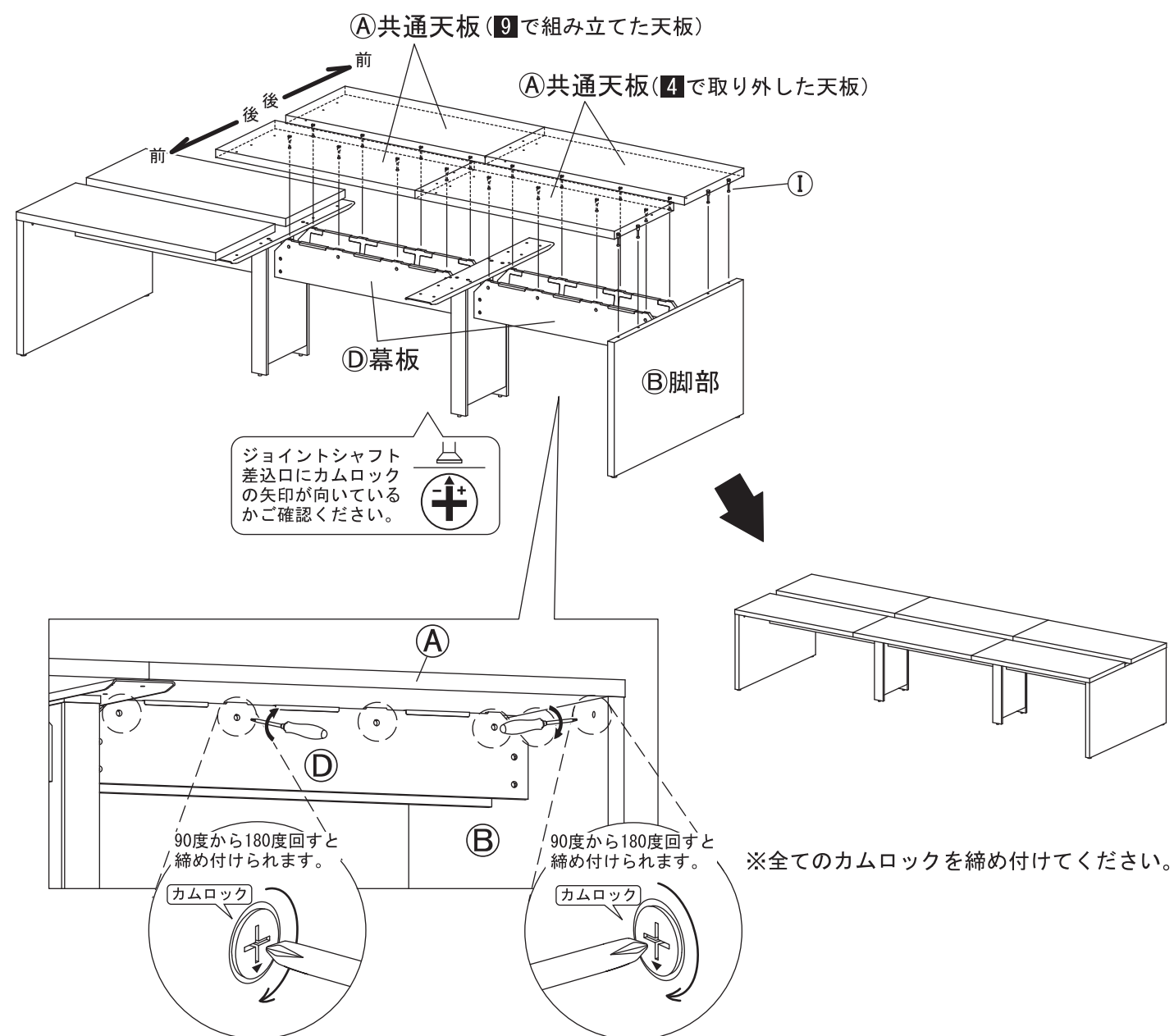
上から見た図

組み立てた製品がまっすぐ組み付けられている事を確認してください。

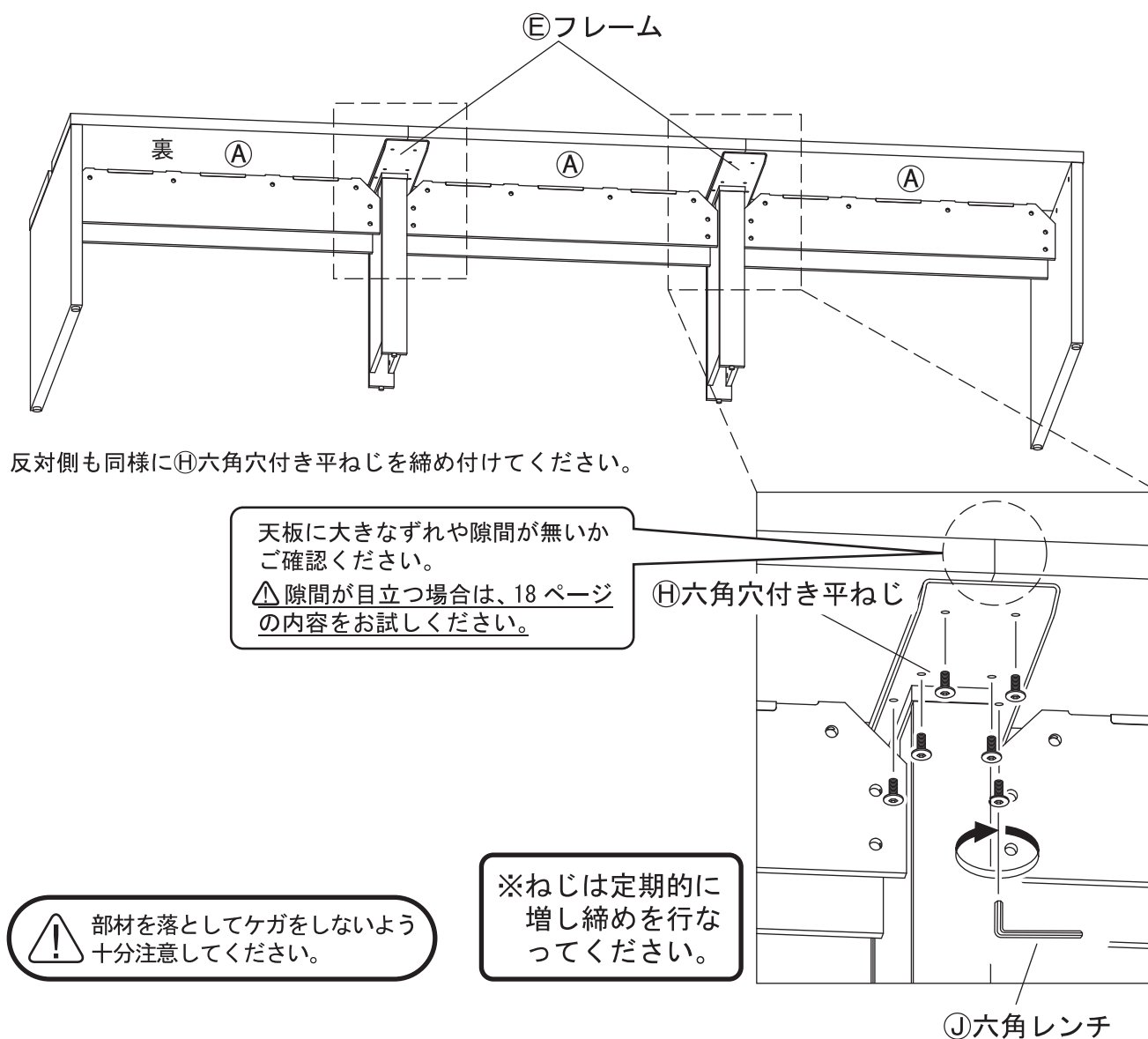
- ④共通天板に①41ジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



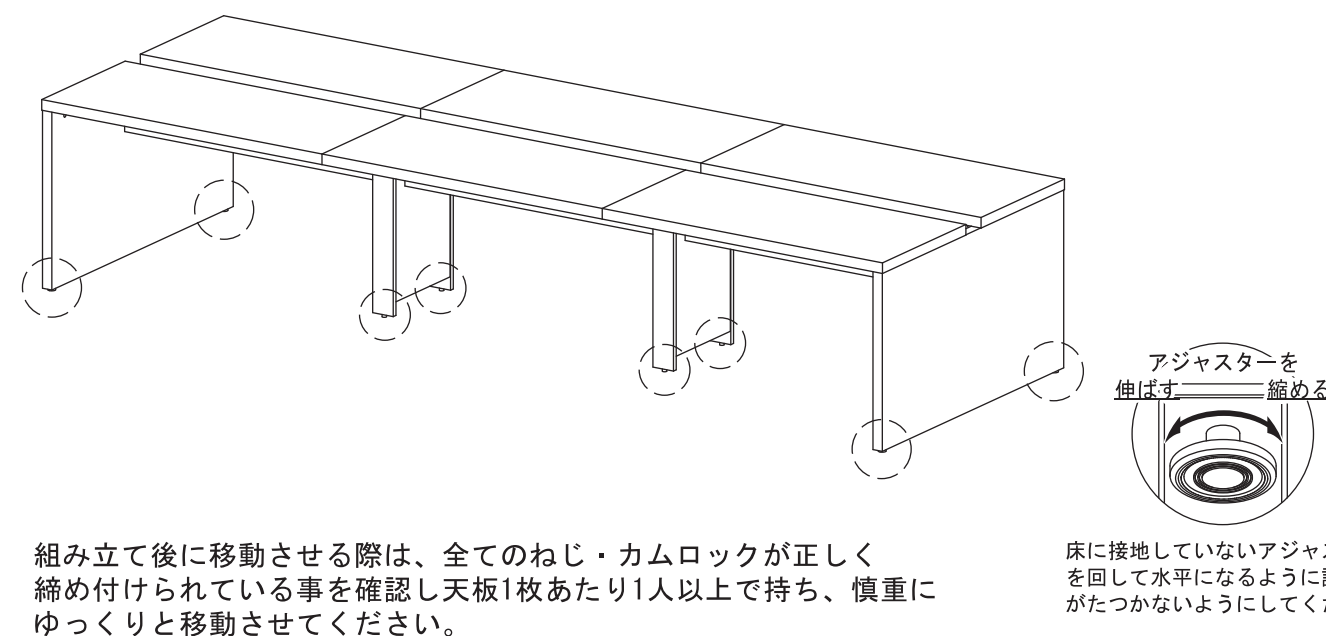
- ④で取り外した④共通天板と⑨で組み立てた④共通天板を取り付けます。
 ④共通天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けられている①41ジョイントシャフトを
 ⑥脚部・⑦幕板の横穴に差し込んでください。その後、⑥脚部・⑦幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- ④共通天板と⑤フレームを固定します。
 ④共通天板の裏側から、⑩六角レンチを使って⑧六角穴付き平ねじを締め付けてください。

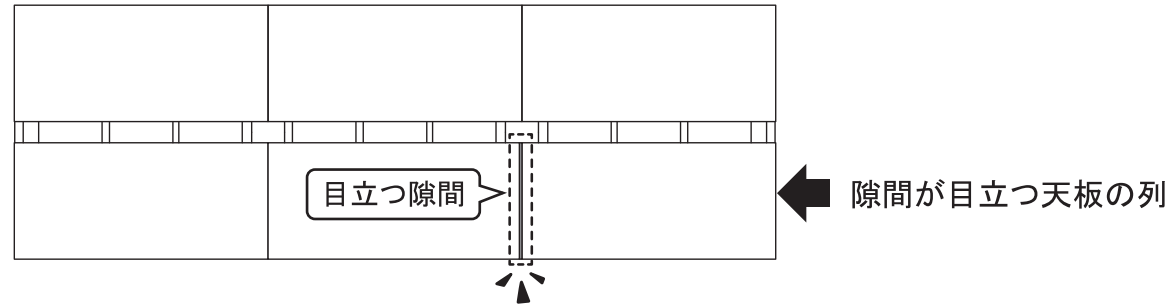


- ④共通天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



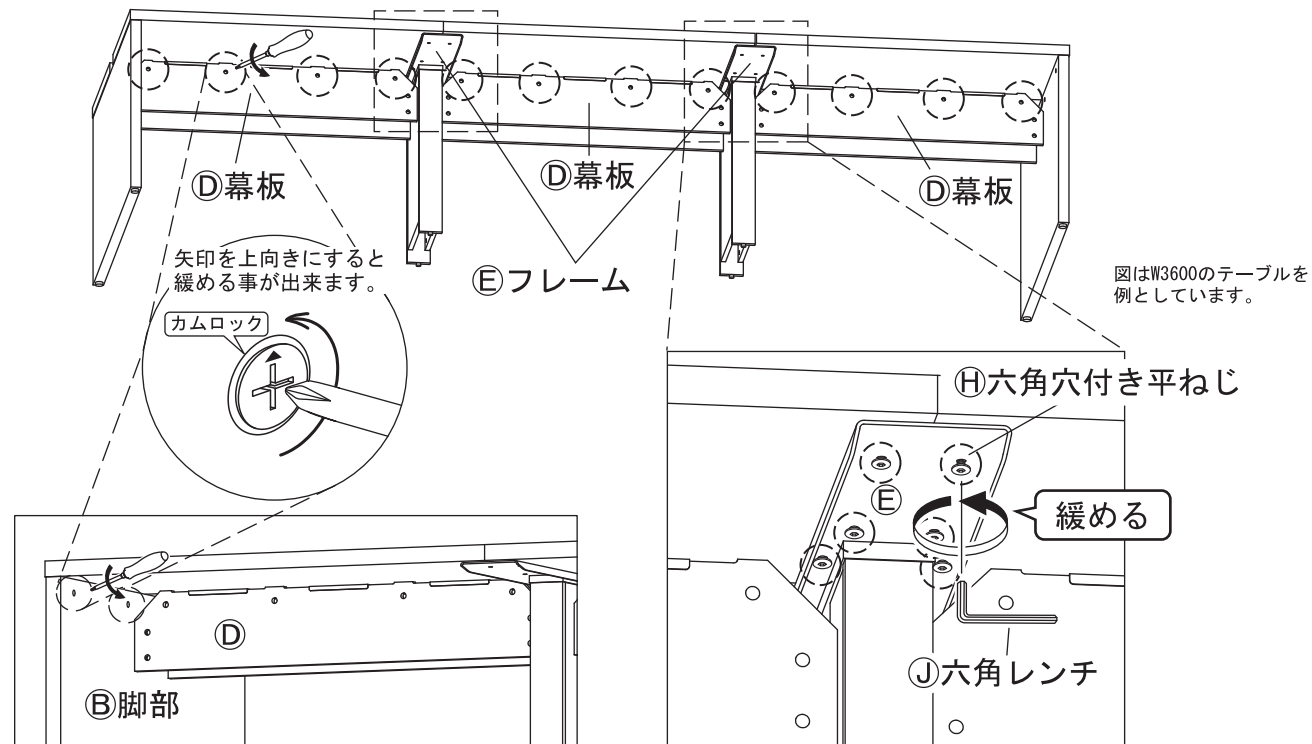
⚠ 連結時、天板同士の隙間が目立つ場合にお試ください。

この作業は3人以上での作業を推奨しています。



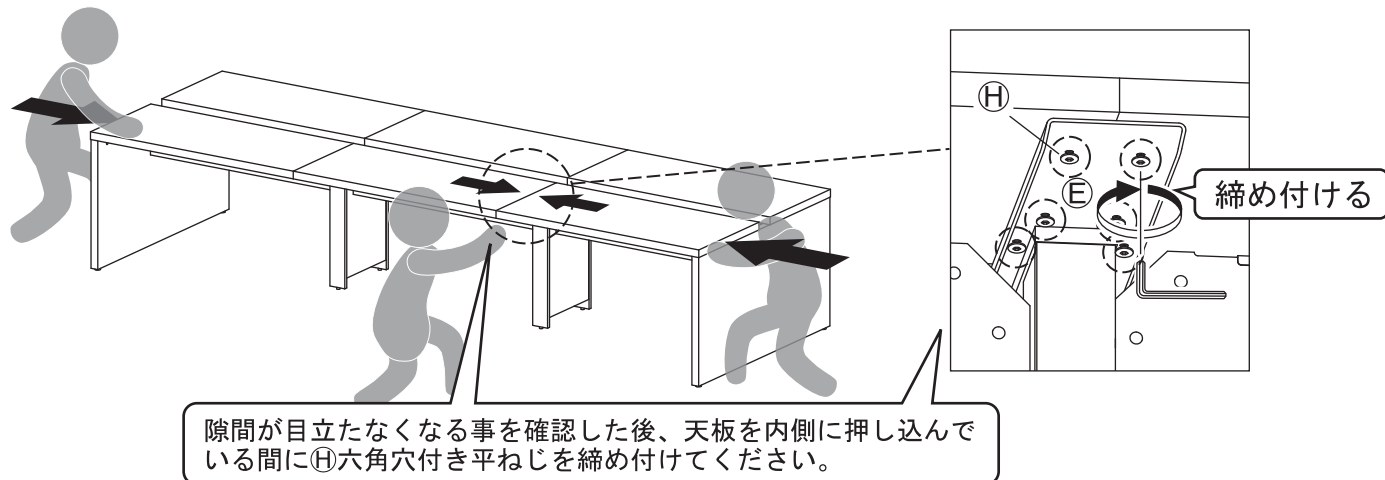
1

隙間が目立つ天板の列の裏側を確認し、天板と連結している①幕板・②脚部のカムロックを回して緩めてください。その後、③六角レンチを使って④フレームに締め付けられている⑤六角穴付き平ねじを緩めてください。



2

隙間が目立つ天板の列の両端から、天板の側面を内側へ押し込み、隙間が目立たなくなる事を確認してください。その間に、もう一人が①で緩めた④フレームに取り付けられている⑤六角穴付き平ねじを全て締め付けます。その後、①で緩めた①幕板・②脚部の全てのカムロックを回して締め付けてください。



⚠ 取扱上の注意

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗りたり腰をかけたりにしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- 商品を移動させる際は、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- ご使用前にアジャスターを床に合わせて高さ調節してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承頂きますようお願いいたします。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたらないでください。破損することがあります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲液体物が付着した場合は、放置せずすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色、変形する場合があります。
- ▲ご使用の環境により、床面にアジャスター・キャスター等の商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き取り、そのあと乾燥した布で水分を十分拭き取ってください。
- ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
またお読みになった後は、大切に保管してください。

組み立て方やお手入れに困ったら

アールエフヤマカワ お客様相談室



＜品質表示＞		幅	奥行き	高さ
外形寸法 (mm)				
・基本				
RFTFT(2)-(W, D) 1012 (12) WH (OA, BK) -T(CB, L, ML)	2000	1200	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1014 (14) WH (OA, BK) -T(CB, L, ML)	2000	1400	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1212 (12) WH (OA, BK) -T(CB, L, ML)	2400	1200	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1214 (14) WH (OA, BK) -T(CB, L, ML)	2400	1400	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1412 (12) WH (OA, BK) -T(CB, L, ML)	2800	1200	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1414 (14) WH (OA, BK) -T(CB, L, ML)	2800	1400	720	
・増速 1 台分				
RFTFT(2)-(W, D) 1012 (12) (AD) WH (OA, BK) -T(CB, ML)	基本+1000	1200	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1014 (14) (AD) WH (OA, BK) -T(CB, ML)	基本+1000	1400	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1212 (12) (AD) WH (OA, BK) -T(CB, ML)	基本+1200	1200	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1214 (14) (AD) WH (OA, BK) -T(CB, ML)	基本+1200	1400	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1412 (12) (AD) WH (OA, BK) -T(CB, ML)	基本+1400	1200	720	
RFTFT(2)-(W, D) 1414 (14) (AD) WH (OA, BK) -T(CB, ML)	基本+1400	1400	720	
耐荷重 (均等荷重)				
天板 1 枚当たり		約 40 kg		
材質				
甲板の表面材・脚部		合成樹脂化粧繊維板 (メラミン樹脂)		
フレーム		金属 (鋼)		
アール・エフ・ヤマカワ株式会社				☎0120-204-208

⚠ 商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身の製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

☑ チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

- ☐ 本体に破損や変色・変形は見当たらないか
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- ☐ カムロックは正常に締め付けられているか
…別項「カムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
- ☐ 隙間やグラつきはないか
…全てのねじがしっかりと締め付けられているかご確認ください。
ねじにゆるみがないよう、定期的に増し締めしてください。
- ☐ 完成図との相違は見当たらないか
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。

その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日・金曜日(祝日を除く)
AM9:00~PM5:00
アール・エフ・ヤマカワ株式会社
お客様相談室

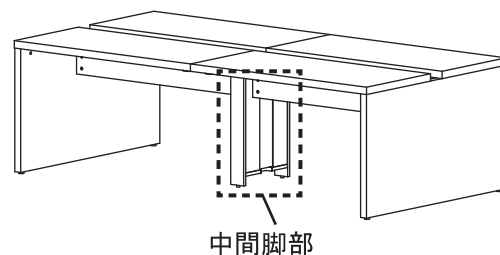
☎0120-204-208
FAX 059-256-5333

申込番号	
品名	ソリッド フリーアドレス用デスクⅡ
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	

ソリッド フリーアドレス用デスクⅡ 中間脚部（配線カバー付き）説明書

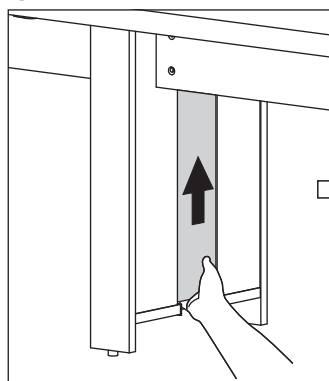
RFTFT2-D12 (14) BK (WH) -MLC

本商品の中間脚部は内部に配線が可能です。
配線作業を行う際は、下記内容をご確認ください。

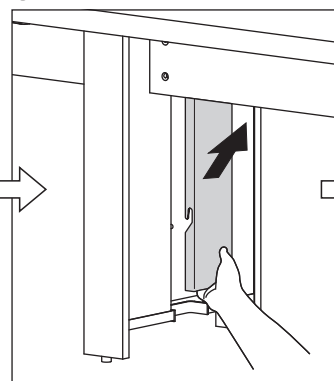


- 中間脚部には、配線用のカバーが付いています。
配線作業を行う場合は、以下の手順で取り外し・取り付けを行ってください。

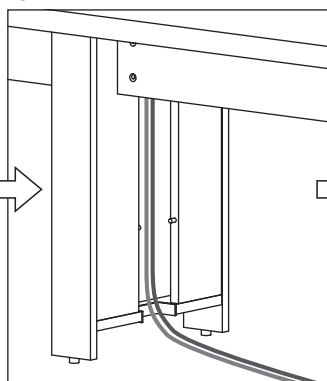
①カバーを持ち上げる



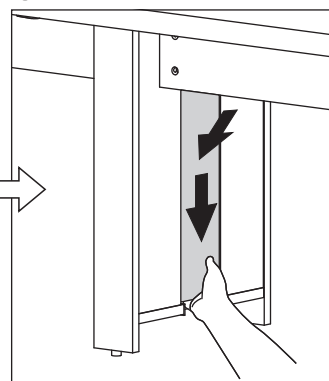
②手前へ引きカバーを外す



③ケーブルを通す



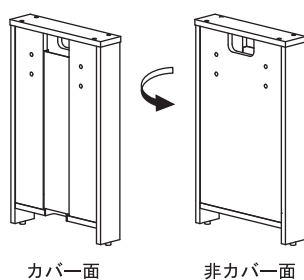
④カバーを戻す



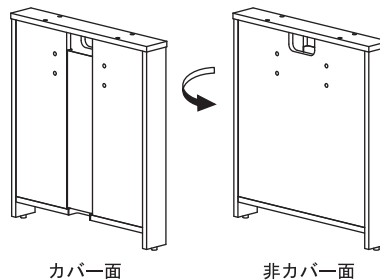
※配線後は、ケーブルが挟み込まれていないことを確認し、カバーを確実に取り付けてください。

- 中間脚部は、カバー面・非カバー面のどちらの向きでも組み立て可能です。
複数台を連結する場合は、向きを揃えて組み立てると外観が整います。

D1200 用中間脚



D1400 用中間脚



■複数台連結時のイメージ

